

協議第1号

令和7年度使用教科用図書の選定について

令和6年（2024年）7月29日提出

教育長 山 根 直 樹

令和7年度から使用する中学校用教科用図書、義務教育学校後期課程用教科用図書及び中等教育学校前期課程用教科用図書の選定を行う。

令和 7 年度使用
中学校用教科用図書、
義務教育学校後期課程用教科用図書及び
中等教育学校前期課程用教科用図書
調査研究報告書（答申）

※一部抜粋

中学校部会
義務教育学校後期課程部会
中等教育学校前期課程部会

令和7年度から使用する 中学校用、中等教育学校(前期課程)用教科用図書 調査研究報告書（答申）「外国語小委員会」

調査研究の経過及び内容等

1 調査研究の経過及び内容

- (1) 第1回（審議） 5月22日（水）17:45～19:15
- ・調査研究項目の設定について
 - ・調査研究の流れ、日程、役割分担
- (2) 第2回（調査研究会議） 5月31日（金）17:30～19:30
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (3) 第3回（調査研究会議） 6月7日（金）17:30～19:30
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (4) 第4回（調査研究会議） 6月14日（金）17:30～19:30
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (5) 第5回（調査研究会議） 6月21日（金）17:30～19:30
- ・採択参考資料に基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
- (6) 第6回（調査研究会議及び審議） 6月28日（金）17:30～19:30
- ・採択参考資料を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、調査研究報告書（答申）案についての審議
- (7) 第7回（調査研究会議及び審議） 7月1日（月）17:30～19:30
- ・市民意見を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、調査研究報告書（答申）案についての審議

2 調査研究対象の教科用図書

「外国語」

- ・東 書（2）「NEW HORIZON English Course」（1、2、3）
- ・開隆堂（9）「Sunshine English Course」（1、2、3）
- ・三省堂（15）「NEW CROWN English Series」（1、2、3）
- ・教 出（17）「ONE WORLD English Course」（1、2、3）
- ・光 村（38）「Here We Go! ENGLISH COURSE」（1、2、3）
- ・啓林館（61）「BLUE SKY English Course」（1、2、3）

札幌市として設定する調査研究項目

教科	外国語	種目	英語
----	-----	----	----

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	目的や場面、状況に応じた伝え方について課題をもち、解決を目指して思考を深めていくことが可能な内容となっているか。
		(2) 「話すこと〔やり取り〕」の領域における学習の取扱い	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることが可能な内容となっているか。 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」を位置付けている。	(3) 各領域の関連に関する取扱い	「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の各領域の関連が図られ、自らの学びを確かめながら、学習を進めることが可能な内容となっているか。
		(1) 協働的に課題の解決を目指す学習に関する取扱い	他者との関わりの中で、自他の考えを尊重し、自らの考えを広げたり深めたりすることが可能な内容となっているか。
共通項目			
教科別項目			

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	目的や場面、状況に応じた伝え方について課題をもち、解決を目指して思考を深めていくことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
東 書	- 各学年ともに単元の扉のページには、「GOAL (単元の目標)」、第2・3 学年には「Unit Question (単元を貫く問い)」が掲載されており、単元末の言語活動を意識しながら、目的意識をもって学びを進めることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに単元末の「Unit Activity」では、言語活動の目的や場面、状況がより具体的に掲載されており、終末の言語活動を自分ごととして捉えやすく、「Activity Sheet」や「思考ツール」などを活用しながら考えや情報を整理し、アウトプットにつなげることが可能な内容となっている。 - 学習者用デジタル教科書には、単語を検索するとその単語が使用されている教科書の文例と、掲載ページが確認できる「用例辞典」や、日本や世界のことにについて知識を深め、地域に関する読み物教材も備わっている「デジタルマップ」が掲載されており、学んできた知識を確かめたり、新たに学んだことを活用したりしながら、主体的に課題解決することが可能な内容となっている。
開隆堂	- 各学年ともに単元の扉のページには、各パートの目標の掲載に加え、新出表現を用いてどのようなことができるようになるかについてイラストで掲載されており、単元末の言語活動を意識しながら、目的意識をもって学びを進めることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに複数単元のまとめ活動である「Our Project」では、目標に対する達成度を振り返る項目とともに、他者と比べて次の言語活動に取り入れたいと思う表現を書き留める自由記述欄が掲載されており、次の学習に向かう意欲を高めることが可能な内容となっている。 - 学習者用デジタル教科書には、ふせん/リンク機能が備わっており、ふせんにメモを書き込み、好きな箇所に貼ったり、ウェブサイトへのリンクを貼ったりすることで、題材情報などインターネットで調べたサイトですぐにアクセスできたりするなど、学びを振り返りながら主体的に課題解決することが可能な内容となっている。
三省堂	- 各学年において単元の扉のページでは、単元全体に関連した問いが掲載されている「Scene」、単元末の言語活動である「Goal Activity」の内容が掲載されており、単元の学習が始まる前に、目的意識をもって学びを進めることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに単元末の「ふり返し」では、巻末の「What Can I Do?」と連動した「ふり返し」があり、単元の言語活動を振り返ることで、次の課題に向かう意欲を高めることが可能な内容となっている。 - 学習者用デジタル教科書には、単元末の「Goal Activity」において、アニメーション動画と実写のモデル動画2種類の動画を視聴できるよう工夫されており、単元末の言語活動について見直しをもって、主体的に学習を進めることが可能な内容となっている。
教 出	- 各学年ともに単元の扉のページには、「内容理解の目標」と「活動の目標」が記載されており、単元末まで見直しをもち、目標を意識しながら学習を進めることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに複数単元のまとめ活動である「Project」では、幅広い話題について「思考ツール」を活用しながら考えや情報を整理し、学んできた知識・技能を確かめたり、学んできたことを活用して、課題を解決したりすることが可能な内容となっている。 - 学習者用デジタル教科書には、新出の言語材料を含んだキーセンテンスを定着するための録音機能「KS 定着」が備わっており、モデル音声と子ども自身が録音した音声を聞き比べることで、学んできた知識・技能を確かめながら、主体的に学びを進めることが可能な内容となっている。

光 村	- 各学年ともに単元の扉のページには、領域別の「Goal (単元の目標)」、単元内の本文の具体的な「目的や場面、状況」、単元の学習の流れなどが掲載されており、見通しをもって主体的に課題解決を目指すことが可能な内容となっている。 - 各学年ともに単元末の「Goal」では、単元の扉の目標を振り返るとともに、巻末の「CAN-DO List」と関連性をもたせている。「CAN-DO List」では、1年間の学習の中でどの単元で何ができるようになるのか一目でわかる表が掲載されており、1年間の学習を見通しながら、次の課題に向かう意欲を高めることが可能な内容となっている。 - 学習者用デジタル教科書には、扉のページにおいて、単元全体のストーリーの音声を聞きながらピクチャーカードを並べていく「ピクチャーカード並びかえ」機能が掲載されており、音声と絵を結び付けることで、単元の学習が始まる前に、単元の物語の見通しをもった上で、主体的に学習を進めることが可能な内容となっている。
啓林館	- 各学年ともに単元の扉のページでは、「Input」と「Output」についての目標、各パートでは「Scene」において具体的な目的や場面、状況が掲載されており、目的意識をもって学びを進めることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに単元末の「Check」では、単元の扉のInputとOutputの目標を振り返るとともに、巻末の「CAN-DO List」と関連性をもたせるよう工夫されており、課題に向かう意欲を高めることが可能な内容となっている。 - 学習者用デジタル教科書は、見開き1ページの1か所に本文音声、アニメーション、英文や単語の読み上げ機能、動画などの機能が集約されているため、デジタルコンテンツにアクセスしやすく、主体的に何度もデジタル教科書内の機能を使って音声を聞いたり練習を積み重ねたりすることで、単元末の自己表現の活動の充実につながることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2)「話すこと [やり取り]」の領域における学習の取扱い
調査研究の具体的内容	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることが可能な内容となっているか。 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	- 各学年ともに、最初の活動として活用可能な「Small Talk 即興で伝え合おう」では、各単元の学習内容に関連した質問と表現などが掲載されており、日常的な話題について即興で伝え合う練習を積み重ねることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに、単元末に日常的な話題や、社会的な話題についてやり取りが可能な「Real Life English」が掲載されており、目的や場面、状況を意識しながらペアで伝え合い、その中で重要な英語表現を学ぶことが可能な内容となっている。 - 第3学年 Unit 4「防災への取り組み」など、社会的な話題について取り扱った言語活動が掲載されており、単元内の「Activity」において題材に關してペアでやり取りを取りを積み重ね、単元末の「Unit Activity」では、教科書の内容、インターネットの情報や自分の意見・考えを思考ツールを活用して整理し、既習表現や語彙を用いて相手に伝え合うことが可能な構成となっている。		
開隆堂	- 各学年ともに、新出表現導入の「Scenes」では、単元で学習する言語材料を取り入れた日常的な話題について対話形式で掲載されており、どのような目的や場面、状況で使われているのかを視覚的に理解しながらやり取りを聞いた上で、ペアで対話練習をすることが可能な内容となっている。 - 各学年ともに、単元内には、既習表現や語彙を使ってやり取りを行う「Small Talk」が毎時間ごとに掲載されており、巻末資料の「Small Talk 表現集」を参考にしながら、日常的な話題について即興で伝え合う力を育成し、既習事項の定着を図ることが可能な内容となっている。 - 第3学年「Our Project 8」では「レストランにSDGsの取り組みを提案しよう」という社会的な話題について取り扱った言語活動が掲載されており、表を用いて自分の意見や考えを整理し、やり取りのポイントを紹介している「Step for Our Project」やモデル動画を参考に、ペアでディスカッションをし、グループで議論を深めることが可能な構成となっている。		
三省堂	- 各学年ともに、単元の導入部分に日常的な話題や、社会的な話題について、即興でやり取りすることが可能な内容の「Small Talk」が設定されており、単元内にある「Small Talk Plus」や、巻末資料の「Tips for Small Talk」を参考に、やり取りに必要な知識や技能を学ぶことが可能な内容となっている。 - 第3学年において、日常的な話題について既習事項を活用して取組む「Take Action Talk」が単元の間に掲載されており、やり取りに必要な表現や、スキットを参考に対話の練習をし、最後にはスキットに頼らず、思考を深めながら、自分で考えを表現することが可能な構成となっている。 - 第2学年 Lesson 4「Safe Clean Water」では、社会的な話題である環境問題の中でも安全な飲み水に関して取り扱った言語活動が掲載されており、水の使い方や生活必需品についてペアで話したり、グラフを用いた英文から情報を読み取ったりしながら、自分の考えや意見を深めることが可能な内容となっている。		

教 出	・各学年ともに、単元内の「Think & Try!」では、単元で学んだ英語表現を活用しながら、日常的な話題や社会的な話題についてやり取りを行う言語活動が設定されており、巻末の活動例を参考にしながら、自分の考えを表現することを積み上げていくことが可能な内容となっている。 ・各学年ともに、補助教材として「Tips for Speaking」が掲載されており、日常的な話題や社会的な話題について即興的なやり取りをするためのポイントを理解することで、応答パターンの増やし方や会話をつなげるコツなど、「話すこと（やり取り）」の技能を高めることが可能な内容となっている。 ・第3学年 Lesson 7「Debating Doggy Bags」では、質問と応答例を参考に、既習表現を用いて即興でやり取りをする「Activities Plus4」が設定されており、社会的な話題であるドギーバッグの是非についてお互いの意見を伝え合い、学習したことや自分の考えをより深めることが可能な内容となっている。
光 村	・各学年ともに、単元のまとめである「Goal」では、目的や場面、状況に応じた言語活動が設定されており、日常的な話題や社会的な話題について、その単元で学んだ英語表現を活用しながら、やり取りを行うことが可能な内容となっている。 ・各学年ともに、授業最初のやり取りの活動として活用可能な帯教材「Let's Talk」には日常的な話題が掲載されており、あいづちやレスポンスなどの表現を参考にしながら、即興的なやり取りを通して、自分の考えや思いを伝え合うことが可能な内容となっている。 ・第3学年 Unit 4「AI Technology and Language」では、「AIと言語」といった社会的な話題に関する記事や意見を読み、自分の考えを整理しながら、AIの技術やAIがどう役立つかなど、自分の考えを伝え合い、クラス全体で交流することが可能な内容となっている。
啓林館	・各学年ともに、本文の導入教材として「Enjoy Chatting」というやり取りが掲載されており、日常的な話題や社会的な話題について、即興的なやり取りを通して、言語活動を積み上げていくことが可能な内容となっている。 ・各学年ともに、「Part」の中に「Speak」という、日常的な話題や社会的な話題について、やり取りに関する言語活動が設定されており、最初は例文や絵を参考に言語活動を行い、その最後には「自分で聞いてみたいことをたずねる」という、自分で考え、聞きたい内容を英語で表現することが可能な構成となっている。 ・第3学年 Unit 5「Take Action on Climate Change」では、気候変動について統計を用いた英文を読み、事実と自分の考えを整理し、「Enjoy Chatting」において、地球の展望や地球を守るために自分たちができることなどについて、既習表現や語彙を用いて伝え合うことが可能な構成となっている。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(3) 各領域の関連に関する取扱い
調査研究の具体的内容	「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」、の各領域の関連が図られ、自らの学びを確かめながら、学習を進めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 東 書	・第1学年のUnit 1からUnit 4までは、「聞くこと」から「話すこと」、「読むこと」から「書くこと」の音声から文字へと学習する構成となっている。おり、小学校段階での学習の流れを汲んでおり、発達の段階に応じた学習を進めることが可能な内容となっている。 ・各学年ともに本文の読み取りの後に行う「Activity」では、「言う」「伝え合う」「書く」活動がバランスよく掲載されており、領域を横断した学習が可能な内容となっている。 ・各学年ともに単元末の「Unit Activity」では、ただ「話すこと」だけに焦点を当ててのではなく、自分の考えを書く、動画を撮る、グラフを用いて発表するというように、既習事項を生かしながら主体的・協働的に考えや気持ちを伝え合うことが可能な内容となっている。 ・各学年ともに単元の導入にあたる「Scenes」と「Tuning in」では、「聞くこと」と「話すこと（やり取り）」、その後の「Part 1～3」では「読むこと」、「Review & Retell」では「話すこと（発表）」、まとめ活動の「Action」では読み取った内容から自身の考えや意見を伝えるための「書くこと」や「話すこと」が中心となり、単元を通して各領域がバランスよく設定され、既習表現を振り返りながら言語活動に取り組むことが可能な構成となっている。 ・各学年ともに複数単元のまとめ活動である「Our Project」では、モデル文を聞いたり、読んだりして、十分な情報を得た後に、自分に関する意見や情報を書き、最終的には発表かやり取りを行うという構成になっており、各領域のバランスが取れた統合的な言語活動を展開することが可能な内容となっている。 ・各学年ともに各単元の本文Part 3では、本文の題材についてのオープンクエスチョン「Think」が設定されており、本文の内容を聞いたり読んだりして理解した上で、学習した表現を使ってやり取りにつなげることが可能な内容となっている。
三省堂	・各学年ともに単元内のPart 1、2は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り）」から始まり、3年間通して音声から文字という学習の流れになっている。おり、小中の接続が図られ、無理なく段階的に学習することが可能な内容となっている。 ・単元のまとめ活動である「Goal Activity」の題材は、その単元のストーリーや、目的や場面、状況と関連が図られており、学びの積み重ねを実感しながらまとめの言語活動に取り組むことが可能な内容となっている。
教 出	・各学年ともに単元内の「Part 1～3」において、左ページの本文では「読むこと&聞くこと」、右ページでは「Tool Kit」では簡単な「話すこと」、「Let's Listen」では「聞くこと」、「Think & Try」で「話すこと&書くこと」が扱われ、見開き1ページで各領域の全てが網羅された構成になっている。おり、各領域のバランスの取れた授業を毎時間展開することが可能な内容となっている。 ・各学年ともに複数単元のまとめ活動である「Project」では、モデルスピーチのリスニングで情報を聞いたことをメモする活動や読んだことをまとめる活動から始まり、最後は自分の思いを書いたり伝え合ったりする活動につながっていくように工夫されており、各領域を横断した学習が可能な内容となっている。 ・各学年ともにそれぞれの領域に関する「Tips for Listening / Reading / Speaking / Writing」が掲載されており、それぞれの領域の技能を高めるためのコツを学習することで、各単元で行われる言語活動をより充実させることが可能な内容となっている。

光 村	・各学年ともに単元内の「Part 1 ～3」において、左ページの本文では「聞くこと」と「読むこと」と「読むこと」、右ページでは言語材料を用いた「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動が設定されており、見開き 1 ページで各領域をバランスよく学習することが可能な構成となっている。 ・登場人物である 4 人の中学生が様々な出来事を経験することで成長していくストーリーが展開され、登場人物の姿に学習者が自己を投影し、深く共感することができるとしている。 ・各学年ともに単元のまよめの活動である「Goal」では、インプットとして「聞くこと」や「読むこと」の言語活動を行い、その後アウトプットとして「話すこと」か「書くこと」の言語活動を行う構成となっており、無理なく段階的に学習することが可能な構成となっている。
啓林館	・各学年ともに単元内の「Part 1 ～3」において、左ページの本文では「聞くこと」と「読むこと」、右ページでは言語材料を用いた「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動が設定されており、見開き 1 ページで各領域をバランスよく学習することが可能な構成となっている。 ・各単元のまよめ活動である「Read & Think」や「Listen & Think」では、「読むこと」や「聞くこと」に特化した学習をし、「Think & Speak」や「Think & Write」では、目的や場面、状況について「聞くこと」や「読むこと」から始まり、最終的には「話すこと」や「書くこと」に特化した学習を行うことが可能な構成となっている。

調査研究項目 No. 2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 協働的に課題の解決を目指す学習に関する取扱い
調査研究の具体的内容	他者との関わりの中で、自他の考えを尊重し、自らの考えを広げたり深めたりすることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
東 書	- 第2学年Unit 6の単元のまとめ活動である「Unit Activity」では、グループの興味に応じたテーマを設定し、アンケート調査の結果を発表するという題材を扱っている。グループで協力してインタビューを行い、その結果を効果的に伝えるためには図表やグラフをどのように活用すればよいかわ話し合う機会が設けられている等、発表内容に留まらず発表方法までお互いの考えを交流することができることから、課題の解決を協働的に目指すことが可能な内容となっている。 - 第3学年複数単元のまとめ活動である「Stage Activity 2」では、これまでの学校生活の中で取り組んできた活動について発表するという題材を扱っており、グループ内で即興的に伝えるという言語活動の後に、もっと知りたいことやもっとよくなるためのアドバイスについて英語でやり取りを行い、そのやり取りを生かして原稿を書く構成で、お互いによりよい発表を目指し、協働的に課題解決を図ることが可能な内容となっている。
開隆堂	- 第2学年複数単元のまとめ活動である「Our Project 4」では、グループでアイデアを出し合い、役割分担をしたり発表したりする活動が掲載されている。発表内容はもちろんのこと、話すスピードや抑揚、間の取り方など、どうすればより魅力あるCMを作ることができるか、仲間と協力して一つのことを創り上げる過程で他者と深く関わり、課題を解決する意欲を高めることが可能な内容となっている。 3年間の総まとめ活動である「Special Project」では、「中学校の思い出を残そう」という題材で、それぞれの学習者が何について書くか、話すかはもちろんのこと、文集や卒業アルバムとして残したり、スキットや紙芝居として発表したりする等、学習者一人一人の力を合わせ、協働的に課題の解決を目指すことが可能な内容となっている。
三省堂	- 第2学年の複数単元のまとめ活動である「Project 2」では、モデル発表の工夫点について話し合ったり、発表練習の際に気付いたことをアドバイスし合ったりする活動を通して、他者との関わりの中で自他の考えを尊重し、自らの考えを広げたり深めたりすることで協働的に課題を解決することが可能な内容となっている。 - 第3学年の複数単元のまとめ活動である「Project 1」では、旅行プランを提案するという題材で、自分のプランを考えた後にグループでお互いにアドバイスを送り合い、自己の表現を再構成し直すことで、お互いより良い発表を目指し、協働的に課題解決を図ることが可能な内容となっている。
教 出	- 第2学年の複数単元のまとめ活動である「Project 3」では、日本文化についてグループで発表するという題材を扱っている。グループ内で興味のある日本文化について調べ、より説得力のある発表となるよう学級でアンケートを取り、発表内容や発表方法についてアイデアを出し合うことで、協働的に課題を解決することが可能な内容となっている。 - 第3学年の複数単元のまとめ活動である「Project 1」では、日々の生活の中で困っていることを解決できるような商品を開発するという題材で、グループ内で普段の困り感について交流し、言語活動を通して、身の回りの生活を便利にするためにはどのようなことができるかという課題を協働的に解決することが可能な内容となっている。

光 村	・第2学年の単元のまとめ活動である「Unit 7」の「Goal」では、どのポスターが良いか自分の意見を伝えるという題材を扱っている。グループ内の英語での話し合いを通して協働的に取り組むことで、他者との関わりの中で自他の考えを尊重し、自らの考えを広げたり深めたりすることが可能な内容となっている。 ・第3学年の単元のまとめ活動である「Unit 6」の「Goal」では、いくつかの候補の中からおすすめの商品について話すという題材を扱っており、ペアで話し方や聞き方について英語で意見交流をし、他者に伝わりやすい表現を協働的に模索することで、自己の成長を実感することが可能な内容となっている。
啓林館	・第2学年の複数単元のまとめ活動である「Project 2」では、30年後にあっていいなと思うものについてプレゼンテーションを行う題材を扱っている。自分のアイデアを他者に見せ、質問やアドバイスし合った後でプレゼンテーションを行い、互いに評価し合う活動を通して、自分の思考を再構築したり、取組を見つめ直したりすることが可能な内容となっている。 ・第3学年の複数単元のまとめ活動である「Project 1」では、ALT ヘインタビューをして記事にまとめるという題材を扱っており、グループ内で担当を決めて質問文を考え、インタビューの記録をテーマ毎に整理した後に、最終的に記事にまとめるという、協働的に課題の解決を目指すことが可能な内容となっている。

外 国 語

外国語の目標について
【教科の目標】 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [英語の目標] 英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第 1 の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第 1 の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 聞くこと - ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 - イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 - ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。 (2) 読むこと - ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 - イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 - ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 (3) 話すこと [やり取り] - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。 (4) 話すこと [発表] - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

(5) 書くこと

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

【参考】

○ 目標の改善

外国語科の目標は、前述のような課題を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力を明確にした上で、①各学校段階の学びを接続させるとともに、②「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にするという観点から改善・充実を図っている。

外国語の学習においては、語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通じて、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。

このため、それらの育成を目指す力について、前述のような課題を踏まえつつ、外国語学習の特性を踏まえて「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「学びに向かう力、人間性等」に示す資質・能力を育成し、小・中・高等学校で一貫した目標を実現するため、そこに至る段階を示すものとして国際的な基準である C E F R を参考に、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の五つの領域で英語の目標を設定している。

○ 標準授業時数

第 1 学年－140 単位時間

第 2 学年－140 単位時間

第 3 学年－140 単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	英語・002-72 英語・002-82 英語・002-92	NEW HORIZON English Course1 NEW HORIZON English Course2 NEW HORIZON English Course3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身近な話題についてのスピーチを聞き取ったり、コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ったりする活動 第2学年～ 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ったり、インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ったりする活動 第3学年～ ディスカッションを聞き、必要な情報を聞き取ったり、世界の食糧問題に関する講話を聞き、話し手の伝えたい内容を捉えたりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ブログやインタビュー記事の概要を読み取ったり、物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったりする活動 第2学年～ 伝記を読んで時系列を整理しながら内容を読み取ったり、議論に向けて賛成・反対の意見を読み取ったりする活動 第3学年～ エネルギー問題に関する説明文の概要を捉えたり、論題について意見を聞き取ったりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 好きな有名人や憧れの人についてたずねたり、病院で症状やこれまでの出来事などを伝えたりする活動 第2学年～ 路線図を参考に行き方を案内するやり取りをしたり、自分の好みや要望を伝えながら買い物をしたりする活動 第3学年～ 防災のためにどんな助け合いができるか伝え合ったり、主張とその理由を明確にしながらディベートをしたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 友達紹介のスピーチをしたり、思い出に残った出来事について発表したりする活動 第2学年～ 好きな日本食について特徴や好きな理由を発表したり、アンケート調査の結果を発表したりする活動 第3学年～ 理想のリーダーについて紹介したり、これからの抱負を発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介のポスターを書いたり、好きな有名人や憧れの人を紹介する文章を書いたりする活動 第2学年～ 学校や学校生活について説明する文章を書いたり、世界遺産の特徴を紹介する文章を書いたりする活動 第3学年～ 資料から読み取った情報をレポートに書いたり、自分の意見と理由を組み合わせる投稿文を書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、ポスターの内容について概要を読み取ることや、協力を呼びかけるポスターを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、世界遺産を紹介する文章を書くことや、世界遺産登録について、自分の立場を明確にして議論することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。			
		内容の構成・排列			

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、アニメについての記事を読むことや、日本のポップカルチャーの魅力を発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit5において、好きなこととそれ以外に知りたいことをたずね合う活動に取り組み、終末の活動で友達紹介のスピーチをする活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Unit5において、ユニバーサルデザインを取り入れた工夫についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で取り入れたいものを伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Unit3において、動物の数が減っている原因について発表する活動に取り組み、終末の活動で絶滅の恐れのある動物の現状を伝える活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Unit Activity」(全学年)では、各パートで表現したことを生かして取り組むことができるゴールの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 英語学習のポイントを系統的に取り上げる「学び方コーナー」(全学年)や、巻末に「CAN-DOリスト」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、音読練習用カラオケ機能を用いて繰り返し練習することができるようになっている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		9・開隆堂	第1学年 第2学年 第3学年	英語・009-72 英語・009-82 英語・009-92	Sunshine English Course1 Sunshine English Course2 Sunshine English Course2
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介や友達の得意なことなどを聞き取ったり、ラジオのインタビュー音声聞いて内容を理解したりする活動 第2学年～ 登場人物の会話や電話の内容を聞いたり、天気予報や飛行機のアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第3学年～ 海外からの旅行者の対話やラジオCMを聞いたり、SDGsについてのディスカッションなど社会的な話題について重要な情報を聞き取ったりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 紹介文など簡単な英文から必要な情報を読み取ったり、物語の内容を読んで理解したりする活動 第2学年～ 外国人に向けたおすすめスポットのチラシから必要な情報を読み取ったり、メールや物語などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第3学年～ ポスターの情報を読み取ったり、プラスチックごみや人物の功績など社会的な話題について読み取ったりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 好きなことや普段することなどについてたずねたり、学校案内や買い物などのやり取りしたりする活動 第2学年～ 誘いたい遊びやイベントについて伝え合ったり、レストランでの注文などのやり取りをしたりする活動 第3学年～ ポスターセッションで訪問者と説明者でやり取りしたり、レストランに提案するSDGsの取組についてディスカッションしたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自分が選んだ写真についてスピーチしたり、マッピングを用いて考えを整理して人物を紹介したりする活動 第2学年～ 自分たちが考えたラーメンのCMを発表したり、スポーツ選手やアーティストなどの人物を紹介したりする活動 第3学年～ ユニバーサル・デザインの道具や施設を紹介したり、スポーツ大会の工夫やお菓子の特徴などをまとめた内容について発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ クラブ活動の入会届を書いたり、リポーターとして人物の状況が伝わるように説明する文を書いたりする活動 第2学年～ 子どもの頃の思い出などをメモに書いたり、外国人に向けたおすすめスポットのチラシを作ったりする活動 第3学年～ カウンセラーになって友達の悩みの原因と解決策を書いたり、自分の学校を紹介する英文を書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達の書いたロボットを紹介する文を読むことや、友達のロボットの紹介を聞いてロボットができることを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、地域のイベントでの出店について登場人物のアイデアを読み取ることや、自分が売りたいものについて伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。			
		内容の構成・排列			

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、スポーツ大会の工夫についてのスピーチ原稿を読むことや、行いたいスポーツについてのルールを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Program6において、好きな映画やアニメについての会話を読む活動に取り組み、終末の活動で自分が好きな登場人物について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Program7において、登場人物が作成した動物についてのクイズを読む活動に取り組み、終末の活動で動物の特徴について伝える活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Program5において、チョコレートの歴史について読む活動に取り組み、終末の活動で紹介したい日本のお菓子の特徴をまとめ発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Our Project」(全学年)では、学んだ表現などを使って取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 本文題材に関連した情報を取り上げる「Coffee Break」(全学年)や、巻末に「CAN-DOリスト」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、AIによるスピーキング評価機能を用いて発音練習を行うことができるようになっている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	英語・015-72 英語・015-82 英語・015-92	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 夏休みにしたことやラジオから流れる天気予報などを聞き取ったり、映画の予告編などを聞いて、概要を聞き取ったりする活動 第2学年～ アンケートの調査結果や友達の発表などを聞き取ったり、ニュースなどを聞いて、概要を聞き取ったりする活動 第3学年～ 写真や修学旅行の思い出などについての話を聞き取ったり、電車の運行情報など必要な情報を聞き取ったりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 募集の案内やメールなどから必要や情報を読み取ったり、雑誌の記事などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第2学年～ おすすめの商品の説明や観光マップなどから必要な情報を読み取ったり、メールなどの要点を捉えたりする活動 第3学年～ 投稿文やウェブサイトの記事などのおおまかな内容を捉えたり、物語などの概要を捉えたりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 相手の得意なことや好きなキャラクターなどについてたずねたり、注文や夏休みにしたいことなどのやり取りをしたりする活動 第2学年～ お気に入りの本やおすすめの場所など即興で伝え合ったり、無人島に持って行くものなどについて話し合ったりする活動 第3学年～好きな映画やおすすめの漫画など即興で伝え合ったり、友達の話を整理し、グループで話し合ったりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ お気に入りの場所や店を発表したり、してみたいスポーツについて考えや意見を伝えたりする活動 第2学年～ 町の魅力が伝わるように詳しく説明したり、アンケートの調査結果を発表したりする活動 第3学年～ 夢中になっていることを紹介したり、旅行プランや物語の内容について考えや意見を発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ヒーローを紹介するポスターを書いたり、思い出に残った出来事の絵日記を書いたりする活動 第2学年～ 本や物語を紹介するカードを書いたり、考えや意見が伝わるようにメールの返事を書いたりする活動 第3学年～ 投稿文に対する自分の考えを書いたり、商品のCMの構成や内容を原稿に書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、冬休みにしたことをたずねることや、今年一番思い出に残ったことを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、地球のためにどんなことをしているかたずねることや、身近な環境問題について書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。			
		内容の構成・排列			

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、聞くと幸せな気持ちになる曲をたずねることや、テーマに沿った曲について投稿記事を書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Lesson7において、週末にしたことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でやってみたいスポーツについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Lesson5において、町でおすすめの場所についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で町や地域の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Lesson8において、中学校卒業後のことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で将来、外国語を使う場面について考えや意見を伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Take Action!」(全学年)では、リアルな場面や状況で、話したり、聞いたり、読んだりする活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習の流れを紹介する「しくみと学び方」(全学年)や、巻末に「Can-Do リスト」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすく、書きやすい書体となるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、録音・再生機能を用いて自分とネイティブの音声とを比較することができるようになっている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	英語・017-72 英語・017-82 英語・017-92	ONE WORLD English Course1 ONE WORLD English Course2 ONE WORLD English Course3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 昨日したことや天気予報を聞き取ったり、留守番電話のメッセージの概要を捉えたりする活動 第2学年～ 登場人物の会話や発表を聞き取ったり、空港やコンサートなどのアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第3学年～ ニュースの概要や要点を捉えたり、館内アナウンスなどを聞いて概要を推測したりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 物語の概要を捉えたり、ウェブサイトなどから自分に必要な情報を見付けたりする活動 第2学年～ ポスターなどから必要な情報を読み取ったり、図表を使った説明文を適切に読み取ったりする活動 第3学年～ 伝記や説明文から文章の概要を捉えたり、物語などを読んで順序を理解しながら読み取ったりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 相手が質問した内容について関連する情報を加えたり、話題を広げた上で相手に質問したりする活動 第2学年～ 飲食店での注文や買い物のやり取りをしたり、環境問題についての対策を話し合ったりする活動 第3学年～ 経験したことをたずね、会話とつなげたり、相手を誘ったり、誘いに応じたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ お気に入りの人物やオリジナルの標識などについて発表したり、自己紹介などを行ったりする活動 第2学年～ 便利なデザインについて紹介したり、行きたい名所を発表したりする活動 第3学年～ ディベートで賛成派、反対派の立場で発表したり、好きな季節について即興でスピーチをしたりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 英語でメールや日記を書いたり、自分の好きなものをSNSの記事にまとめたりする活動 第2学年～ 自分の町を紹介する文章を書いたり、最近新たに知ったことについてのスピーチ原稿を書いたりする活動 第3学年～ 魅力的な商品やサービスについてコマーシャルの原稿をまとめたり、ある議論について理由とともに自分の考えを書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達と標識クイズのやり取りをすることや、オリジナルの標識の特徴や意味を発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達と世界の国や地理クイズについてやり取りすることや、行きたい名所を魅力や理由とともに発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。			
		内容の構成・排列			

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、宇宙ごみについてのニュースを読むことや、宇宙でどんなことをしたいか話し合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Lesson4において、好きな作家や本について紹介する活動に取り組み、終末の活動で自分の好きなものをSNSに投稿して紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Lesson9において、日本手話とアメリカ手話の違いについて紹介する活動に取り組み、終末の活動で海外の友達に商品について説明する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Lesson5において、どのような進学先を選ぶかやり取りする活動に取り組み、終末の活動で「中学生の夢」について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Project」（全学年）では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 辞書の使い方を紹介する「辞書の使い方」（全学年）や、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」（全学年）を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、ネイティブ音声の再生速度調整機能を用いて文字をハイライト表示しながら聞くことができるようになっている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	英語・038-72 英語・038-82 英語・038-92	Here We Go! ENGLISH COURSE1 Here We Go! ENGLISH COURSE2 Here We Go! ENGLISH COURSE3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介や夏休みにすることなどを聞き取ったり、学校紹介などを聞いて、おおまかな内容を捉えたりする活動 第2学年～ 友達の話やアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったり、ニュースなどを聞いて、おおまかな内容を捉えたりする活動 第3学年～ 講演やおすすめの作品などについての話を聞き、おおまかな内容を捉えたり、話し合いを聞いて話し手の意見などの要点を捉えたりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 説明文やチャットのやり取りなどから必要な情報を読み取ったり、身近な人を紹介する文章などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第2学年～ グルメの紹介記事やオンラインツアーの案内などから必要な情報を読み取ったり、日記などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第3学年～ 人物の手記や伝記からその人物の功績などをおおまかに捉えたり、投稿文や説明文などの要点を捉えたりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自分と相手の基本的な情報や興味のあることなどについてたずねたり、買い物や注文などのやり取りをしたりする活動 第2学年～ 企画への希望や意見などその場で伝え合ったり、必要だと思うものなどについて意見を整理して伝え合ったりする活動 第3学年～ おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合ったり、聞いた話をまとめ、自分の意見を伝えたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 春休みの出来事を発表したり、伝えたい情報を整理して人物を紹介したりする活動 第2学年～ 町の名物の魅力が伝わるように詳しく説明したり、イベントを提案したりする活動 第3学年～ 伝記の内容を自分の言葉で説明したり、記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介カードに自分の情報を書いたり、友達の素敵なところが伝わる紹介文を書いたりする活動 第2学年～ 出来事や感想などを日記に書いたり、用件や気持ちが伝わるようにメールの返事を書いたりする活動 第3学年～ 説明文の要点に対する自分の考えを書いたり、読んだ手記の感想や考えをレポートに書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、身近な人を紹介する文章を読むことや、友達の紹介文を書いたりすることなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることや、企画への希望や意見をその場で伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。			
		内容の構成・排列			

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることや、記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit4において、好きなスポーツ選手やミュージシャンについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でALTに他教科の先生を紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Unit5において、災害に備えて必要だと思ったことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で防災バッグに必要だと思うものについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Unit6において、日本のどんな作品を外国の人に紹介したいかやり取りする活動に取り組み、終末の活動でおすすめの作品について詳しい情報を伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「You Can Do It!」(全学年)では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習方法を紹介する「英語の学びガイド」(全学年)や、巻末の「CAN-DO-List」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、人物別音声オフ機能を用いてペアやグループで役割を分けて練習することができるようになっている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		61・啓林館	第1学年 第2学年 第3学年	英語・061-72 英語・061-82 英語・061-92	BLUE SKY English Course1 BLUE SKY English Course2 BLUE SKY English Course3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介を聞き取ったり、ビデオメッセージやニュースなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第2学年～ ラジオの内容を聞き取ったり、空港や機内のアナウンスから必要な情報を聞き取ったりする活動 第3学年～ 環境についてのスピーチを聞いて要点を捉えたり、ラジオ番組を聞いて必要な情報を聞き取ったりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 学校生活についての会話のおおまかな内容を捉えたり、海洋プラスチックごみについて、要点を捉えたりする活動 第2学年～ 海外の友達からのメールのおおまかな内容を捉えたり、伝記を読んで出来事を整理し、内容を捉えたりする活動 第3学年～ 物語からおおまかな内容を捉えたり、言語についての説明文について要点を捉えたりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 教室への行き方をたずねたり説明したり、ファーストフード店での注文などのやり取りをしたりする活動 第2学年～ 目的地までの行き方をたずねたり説明したり、「学校の制服は必要かどうか」についてディスカッションしたりする活動 第3学年～ 苦情を伝えたり、苦情に対して謝ったり、目的地まで、乗り物を使った行き方をたずねたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介や大切なものについてスピーチをしたり、冬休みの思い出を発表したりする活動 第2学年～ イベントを企画して発表したり、未来にあったらいいと思うものについてプレゼンテーションしたりする活動 第3学年～ 再生可能なエネルギーについてスライドをもとに発表したり、スポーツ選手のことを紹介したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 学校生活を紹介するメールを書いたり、したことや自分の考えなどを日記に書いたりする活動 第2学年～ おすすめの旅行先を紹介するメールを書いたり、日本の習慣やマナーを紹介する文章を書いたりする活動 第3学年～ ALTにインタビューした内容を記事にまとめたり、地域奉仕活動に関する意見文を書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、身近な人についての紹介を聞くことや、自分が紹介したいことや身近な人について発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、夏休みに行きたい場所についてやり取りすることや、好きな祭りや地域で開催されている祭りについて発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。			
		内容の構成・排列			

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、気候変動について聞くことや、自分に取り組める気候変動への対応策について発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit8において、好きな料理について読む活動に取り組み、終末の活動で行きたい場所やそこでしたいことをたずね合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第2学年～ Unit5において、自分が今頑張っていることについて発表する活動に取り組み、終末の活動で将来の夢や達成したい目標について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第3学年～ Unit4において、ピクトグラムについての説明を聞く活動に取り組み、終末の活動でユニバーサルデザインの具体例を説明する文章を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「Project」（全学年）では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「英語の学び方」（全学年）や、巻末に「CAN-DO List」（全学年）を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、語句をタップして聞く読み上げ機能を用いてネイティブの発音を確認することができるようになっている。

様式 3

＜外国語の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 5 領域別の活動数及び総ページ数② 小学校外国語活動・外国語を踏まえた内容を取り上げているページ数③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数 |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、領域ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。② 小学校外国語活動・外国語との関連に留意して、指導計画を適切に作成することが求められていることから、その取扱いについて把握する必要があるため。③ 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。 |
|--|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者			東書			開隆堂			三省堂		
						1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	5 領域別の活動数 及び総ページ数	聞くこと				30	17	13	62	62	54	64	61	57
		読むこと				37	49	37	41	41	38	34	36	34
		話すこと[やり取り]				37	33	27	38	34	43	33	19	21
		話すこと[発表]				10	22	21	16	11	7	16	15	13
		書くこと				45	26	28	39	37	38	35	32	27
		総ページ数				170	158	158	182	166	166	188	172	172
		前回の総ページ数				174	166	162	172	172	164	186	178	186
		増減				-2%	-5%	-2%	6%	-3%	1%	1%	-3%	-8%
②	小学校外国語活動・外国語を踏まえた内容を取り上げているページ数					67	0	0	76	35	21	68	12	0
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数					0	8	4	4	4	8	6	1	0

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者			教出			光村			啓林館		
						1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	5 領域別の活動数 及び総ページ数	聞くこと				46	43	29	73	65	58	81	78	60
		読むこと				20	24	19	32	33	35	22	49	37
		話すこと[やり取り]				37	33	21	43	44	33	56	42	32
		話すこと[発表]				14	18	21	19	12	15	14	17	14
		書くこと				15	17	13	31	31	28	58	64	46
		総ページ数				182	182	182	194	194	194	166	170	154
		前回の総ページ数				176	178	178	190	190	190	158	166	150
		増減				3%	2%	2%	2%	2%	2%	5%	2%	3%
②	小学校外国語活動・外国語を踏まえた内容を取り上げているページ数					83	26	10	79	36	15	91	36	12
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数					15	6	17	0	5	1	1	1	4

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 姓		教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	2	Unit 2 Part 2 (P21)	文字/イラスト	・ Sapporo ramen
		Unit 2 Read and Think 1 (P22)	文字/写真 文字	・ Sapporo ramen ・ Hokkaido
		Unit 2 Read and Think 1 (P23)	文字	・ Sapporo ramen/札幌ラーメン
		Unit 7 Part 1 (P90)	文字	・ Shiretoko
		2年Key Sentences (P132)	文字	・ Sapporo ramen/札幌ラーメン
		Unit Activity Plus 7 (P141)	文字 文字/写真	・ Hokkaido ・ Shiretoko
		Expression List (P148)	文字	・ Hokkaido
		Expression List (P149)	文字	・ Shiretoko
	3	Unit 3 Unit Activity (P38)	文字 文字/写真	・ Hokkaido ・ シマフクロウ、タンチョウ
		Scene 3 Real Life English (P39)	文字	・ シマフクロウ
		1～3年Key Sentences (P132)	文字	・ Sapporo ramen
		Unit 3 Unit Activity Plus 3 (P137)	文字/写真	・ Blakiston's fish owl/シマフクロウ
開 隆 堂	1	Get Ready 3 (P12)	文字	・ 北海道
		Step 5 (P119)	文字/写真	・ Hokkaido、Hakodate、Niseko
		Power-Up 5 (P122)	文字 写真	・ 札幌 ・ テレビ塔
		ローマ字（ヘボン式）(P150)	文字	・ Hokkaido（北海道）
	2	Program 3 英語早わかり (P40)	文字	・ Hokkaido
		Coffee Break 2 (P62)	文字	・ 知床、北海道
		Program 7 Tunig in (P100)	文字	・ 北海道
		Small Talk表現集 (P164)	文字	・ 北海道/Hokkaido
	3	Program 1 Part 2 (P12)	写真	・ 北海道新幹線弁当
		Program 1 Review and Retell (P14)	写真	・ 北海道新幹線弁当
		Reading 1 (P48)	写真	・ ワシ、Dr. Saito Keisuke
		Reading 1 (P49)	文/写真 文字 写真	・ Dr. Saito Keisuke、Eagles、owl ・ Hokkaido ・ ワシ
		Reading 1 (P50)	文 文/写真	・ Dr. Saito Keisuke ・ Eagles（オオワシ）
		Reading 1 (P51)	文/写真 写真	・ Dr. Saito Keisuke ・ 新聞記事（エゾシカ、ヒグマ、オジロワシ、オオワシ、猛禽類医学研究所、釧路市）
		Reading 1 (P52)	文/写真 写真	・ Dr. Saito Keisuke、owl ・ ワシ
		Reading 1 (P53)	文字/イラスト 文字	・ オオワシ、シマフクロウ ・ Dr. Saito Keisuke
	1	Contents (P 2)	写真	・ 藤澤五月
		Lesson 4 Part2 (P58)	文字	・ Hokkaido
		Lesson 7 (P91)	写真	・ ロコソラーレ
		Lesson 7 Goal Activity (P97)	文/写真	・ ロコソラーレ (the Japan National Curling Team)
三 省 堂	1	Contents (P 2)	写真	・ 藤澤五月
		Lesson 4 Part2 (P58)	文字	・ Hokkaido
		Lesson 7 (P91)	写真	・ ロコソラーレ
		Lesson 7 Goal Activity (P97)	文/写真	・ ロコソラーレ (the Japan National Curling Team)

教 出		Lesson 8 Small Talk Plus (P111)	文字	・Hokkaido
		基本文のまとめ (資料13)	文字	・Hokkaido (北海道)
	2	Project 3 (P108)	文/写真 文	・Goryokaku ・Hakodate、Hokkaido
	1	Contents (P 3)	文字	・Hokkaido (北海道)
		ローマ字表 (P18)	文字	・Hokkaido (北海道)
		Project 1 (P70)	写真	・高梨沙羅
		Lesson 6 Task (P94)	文字	・Golden Kamuy、Ainu
		Tips for Reading (P98)	文字	・Hokkaido
		Lesson 8 (P117)	文字 写真	・Hokkaido (北海道) ・ジュエリーアイス、タンチョウ
		Lesson 8 Part 1 (P118)	文 文/写真	・Hokkaido (北海道)、Toyokoro ・Jewelry Ice
		Lesson 8 Part 2 (P120)	文/写真	・ジュエリーアイス
		Lesson 8 Part 3 (P122)	文	・北海道、Jewelry Ice
		Lesson 8 Part 3 (P123)	文/写真 文 写真	・Cranes (タンチョウ) ・Kushiro ・釧路湿原
		Lesson 8 Task (P124)	文字/写真 文字 写真	・Sapporo ramen、Asahiyama zoo、Hakodate ・北海道 (Hokkaido)、Sapporo、 the snow festival、the clock tower、 Asahikawa、Kushiro、Toyokoro ・タンチョウ、ジュエリーアイス
		Sing Along (P126)	文・写真	・Jewelry Ice
		Activities Plus 4 (P140)	文字	・Hokkaido
		Think&Try 活動例 (P161)	文字	・Lake Mashu、Asahiyama Zoo
		Word List (P164)	文字	・Ainu
	2	Review Lesson Grammar (P10)	文字	・Sapporo
		Activities Plus 3 (P70)	文字	・Hokkaido
		Tips for Writing (P83)	文字	・Asahiyama Zoo、Hokkaido
		Project 2 (P98)	文/写真 文	・The Ainu (people)、Upopoy (The National Ainu Museum)、Shiraoi ・Hokkaido
		Think&Try 活動例 (P156)	文字	・Sapporo
		Word List (P158)	文字	・Ainu
	3	Contents (P 2)	文字	・The Eagles of Hokkaido ・北海道
		Lesson 1 Part 2 (P14)	文字	・Hokkaido
		Lesson 1 Task (P18)	文字	・Hokkaido
		Lesson 1 Grammar (P19)	文字	・Hokkaido
		Lesson 2 (P23)	文字/写真	・The Eagles of Hokkaido ・北海道
		Lesson 2 Part 1 (P24)	文字/写真 文字 写真	・北海道のわし (eagles) ・Hokkaido ・タンチョウ
		Lesson 2 Part 1 (P25)	文/イラスト	・Hokkaido
		Lesson 2 Part 2 (P26)	文字	・Hokkaido (北海道)
		Lesson 2 Part 3 (P28)	文/写真	・北海道のわし (eagles)、Hokkaido、 Saito Keisuke (齊藤慶輔)、 The Kushiro Wetland Wildlife Center (釧路

			湿原野生生物保護センター)
		Lesson 2 Part 3 (P29)	文/写真 • 北海道のわし (eagles)、Saito Keisuke、北海道
		Lesson 2 Task (P30)	文字/写真 文字 • Saito Keisuke • 北海道のわし
		Lesson 2 Grammar (P31)	文字 • Hokkaido、Sapporo
		Lesson 4 Part 1 (P55)	写真 • 町田瑠唯、北口榛花
		Lesson 4 Part 2 (P56)	文/写真 写真 • 石崎琴美 (Ishizaki Kotomi) • ロコソラーレ
		Lesson 4 Task (P60)	文/写真 • Ishizaki Kotomi
		Think&Try 活動例 (P146)	文字 • eagles、Hokkaido、
		Word List (P149)	文字 • Ainu
光 村	2	Scene 5 (P68)	文/写真 文字 • Moerenuma Park、Sapporo Maruyama Zoo、 Sapporo Clock Tower、Chuo Fish Market • Nakajima Koen (中島公園)、Odori、Maruyama Koen、Nijyuyonken、Kanryo dori Higashi、 Tozai Line、Namboku Line、Toho Line
		Unit 7 Part 1 (P93)	文/写真 文字 • Takino Suzuran Hillside Park、 Sapporo TV Tower • Sapporo、Sapporo Clock Tower、Sapporo、 The Sapporo Snow Festival、Maruyama Zoo
		Let's Read More (P120)	文/写真 文 • Ainu、Kayano Rie (萱野りえ) • Hokkaido
		You Can Do It 3 (P116)	イラスト/ 文字 • Hokkaido
		Let's Read More (P121)	文/写真 • Ainu、Kayano Rie (萱野りえ)
		3 Unit 2 Part 3 (P25)	イラスト 写真 文字 • 北海道 • Asahiyama Zoo • Hokkaido
啓 林 館	1	Unit 4 Think & Speak (P50)	文字/写真 • Takanashi Sara
	2	Unit 2 Think & Speak (P28)	文字/写真 文字 • Yosakoi Soran Festival (Yosakoiソーラン祭り) • Hokkaido's Soran Bushi
	3	Unit 1 Part 3 (P11)	文字/写真 • the clock tower、Sapporo ramen、 polar bear
		Unit 3 Part 3 (P36)	文字/写真 • Samani Dam、Hokkaido
		Unit 6 Read & Think (P85)	文字 • the Nippon Ham Fighters
		Unit 6 Read & Think (P86)	文字 • the Nippon Ham Fighters

令和7年度から使用する 中学校用、中等教育学校(前期課程)用教科用図書 調査研究報告書（答申）「音楽小委員会」

調査研究の経過及び内容等

1 調査研究の経過及び内容

- (1) 第1回（審議） 5月22日（水）17：45～19：30
 - ・ 調査研究項目の設定について
 - ・ 調査研究の流れ、日程、役割分担
- (2) 第2回（調査研究会議）5月30日（木）17:30～20：00
 - ・ 札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (3) 第3回（調査研究会議）6月6日（木）17:30～20：00
 - ・ 札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (4) 第4回（審議） 6月13日（木）17:30～20：30
 - ・ 札幌市として設定する調査研究項目における、調査研究報告書（答申）案についての審議
- (5) 第5回（審議） 6月21日（金）17:30～20：30
 - ・ 札幌市として設定する調査研究項目における、調査研究報告書（答申）案についての審議
- (6) 第6回（調査研究会議及び審議）6月28日（金）17:30～20：30
 - ・ 採択参考資料を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・ 札幌市として設定する調査研究項目に基づく、調査研究報告書（答申）案についての審議
- (7) 第7回（調査研究会議及び審議）7月2日（火）17:30～20：30
 - ・ 市民意見、学校意見を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・ 札幌市として設定する調査研究項目に基づく、答申案の審議、決定

2 調査研究対象の教科用図書

「音楽一般」

- ・ 教 出 (17)「中学音楽 音楽のおくりもの」(1、2・3上、2・3下)
- ・ 教 芸 (27)「中学生の音楽」(1、2・3上、2・3下)

「器楽合奏」

- ・ 教 出 (17)「中学器楽 音楽のおくりもの」(1・2・3)
- ・ 教 芸 (27)「中学生の器楽」(1・2・3)

札幌市として設定する調査研究項目

教科	音楽	種目	音楽一般
----	----	----	------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 表現領域における課題探究的な学習の取扱い	歌を歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする活動において、曲想と音楽の構造などを関連付けながら、どのように表現したいかという思いや意図をもち、音楽表現を高めることが可能な内容となっているか。
		(2) 鑑賞領域における課題探究的な学習の取扱い	音楽を鑑賞する活動において、曲想と音楽の構造などを関連付けながら、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解し、音楽のよさや美しさを味わうことが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」や「国際理解教育の推進」を位置付けている。	(1) 豊かな人間性や社会性を育む学習の取扱い	表現及び鑑賞の活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容となっているか。
		(2) 国際性を育む学習の取扱い	日本の伝統音楽や諸外国の音楽文化に触れ、音楽の多様性を理解することが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、『ふるさと札幌』を心にもつ学び』を位置付けている。	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い	札幌の自然環境や文化的環境を生かした学習活動を通して、ふるさと札幌への思いを深めることが可能な内容となっているか。
共通項目			
教科別項目			

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 表現領域における課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	歌を歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする活動において、曲想と音楽の構造などを関連付けながら、どのように表現したいかという思いや意図をもち、音楽表現を高めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	- 第2・3学年上・下に掲載されている歌唱共通教材では、「Active!」のワークシートを活用しながら、2曲を比較することで曲の特徴を捉え、思いや意図をもって表現を工夫する学習活動が可能な内容となっている。 - 全学年に掲載されている「歌のアルバム」では、それぞれの合唱曲に対し、着目する視点が示されており、よりよい歌唱表現を追求することが可能な内容となっている。 - 創作の学習では、日本語の抑揚や言葉のリズムを生かしてどのような音や音楽にしていくかが分かるように構成されており、課題意識をもちながら創作活動に取り組むことが可能な内容となっている。
教 出	- 歌唱教材における「学びのコンパス」では、曲の特徴を捉えるために必要である音楽を形づくっている要素が「注目するポイント」に示され、そのポイントを手掛かりにしなが聴き取ったことと感じ取ったこととを関わらせ、どのように表現したいかという思いや意図をもって歌唱表現を追求することが可能な内容となっている。 - 第2・3学年上の「翼をください」では、「学びのコンパス」と「My Voice」を組合せて活用することで、ヒントを参考にしながら音楽の特徴や混声三部合唱の魅力を捉え、歌い試しながら音楽表現を高めていく学習活動が可能な内容となっている。 - 全学年において「指揮をしてみよう」が掲載されており、曲想を感じ取りながら指揮で表現する活動を通して、より豊かな歌唱や鑑賞の音楽活動につなげていくことが可能な内容となっている。 - 旋律創作（「My Melody」）やリズム創作（「Let's Create!」）では、掲載されている例題や吹き出しのアドバイスを参考にすることで思考が促され、創意工夫して音楽をつくる活動が可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 鑑賞領域における課題探求的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	音楽を鑑賞する活動において、曲想と音楽の構造などを関連付けながら、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解し、音楽のよさや美しさを味わうことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
教 出	・第1学年「魔王」では、『比べてみよう』でライヒャルト作曲の「魔王」が紹介されており、二つの作品を比較することでシェーベルトが作曲した「魔王」との形式の違いや、歌曲としての音楽表現の違いを理解することが可能な内容となっている。 ・第1学年「箏曲『六段の調』」では、初段から六段までの冒頭部分を楽譜と唱歌で表記しており、唱歌を意識しながら鑑賞することで、リズムや音色などの特徴を理解することが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「交響曲第5番 ハ短調 作品 67」では、全楽章で現れるこの曲の特徴的なリズムが色分けして示されており、各楽章で統一されたリズムを意識しながら鑑賞することで、楽曲の構成を理解することが可能な内容となっている。
教 芸	・第1学年「魔王」における『学びのコンパス』は、様々な場面による伴奏の違いを楽譜で比較したり、吹き出しの内容を手掛かりに旋律の変化を捉えたりすることで、登場人物の心情や情景と旋律の関わりを学ぶことが可能な内容となっている。 ・第1学年「雅楽『平調 越天楽』」では、曲の冒頭部分が絵譜で示されており、楽器の重なり方を視覚的に捉えることができるとともに、『学びのコンパス』を活用し、我が国の伝統的な音楽特有の「間」に着目することで、楽曲の特徴を見いだすことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「交響曲第5番 ハ短調」では、2ページにわたり繰り返し現れる特徴的なリズムが楽譜で色付けして示されており、様々なパートで演奏されるこの特徴的なリズムの現れ方を視覚的に捉えることで、楽曲の構成を理解することが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「尺八楽『巢鶴鈴慕』」では、冒頭の旋律を丸と線の動きで表記しており、尺八特有の微細な音の変化を視覚的にも捉えることができるので、楽器の音色や様々な奏法などを理解して聴くことが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 豊かな人間性や社会性を育む学習の取扱い
調査研究の具体的内容	表現及び鑑賞の活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容になっているか。		

調査研究結果	
教 出	・第1学年「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」、第2・3学年下「言葉の抑揚やリズムを生かして表現してみよう」では、言葉のリズムや抑揚を生かしてどのように言葉を重ねたり構成したりするかを話し合ったり、グループでパートを重ねて歌い試す活動を通して、協働して創作活動する楽しさを味わうことが可能な内容となっている。 ・全学年に掲載されている「どんな特徴があるかな？」では、曲の特徴や雰囲気の違いが音楽を形づくる要素とどのように関わっているか話し合ったりプレゼンテーションする活動が促されており、他者との関わりを通して音楽を形づくっている要素の働きについて学習することが可能な内容となっている。 ・全学年に「話し合おう」というコーナーが設定されているページがあり、聴き取ったことや感じ取ったことを交流したり、表現の仕方について話し合ったりする活動が促されており、コミュニケーションを図りながら音楽活動する楽しさを味わうことが可能な内容となっている。
教 芸	・全学年に掲載されている「音楽の学びを振り返ろう」では、仲間に勧めたい曲についてその曲のよさをプレゼンテーションし合うことで、音楽の授業で学んだ内容を振り返るとともに、他者との関わりを通して音楽への関心を高めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「時の旅人」では、音楽の特徴や歌詞との関わりなどについて交流し、グループで歌い試しながらどのように表現を工夫したいか考え、他者の意見も取り入れながら、協働して音楽表現を高める活動が可能な内容となっている。 ・全学年を通して「Let's Create!」では、表現したいイメージに合うようにどのように音楽を構成するか、吹き出しのコメントを参考にしてペーやグループで話し合ったり、つくった作品を交流して一緒に演奏することが促されることが多い。

調査研究項目 No. 2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 国際性を育む学習の取扱い
調査研究の具体的内容 日本の伝統音楽や諸外国の音楽文化に触れ、音楽の多様性を理解することが可能な内容となっているか。			

調査研究結果	
発行者	・第1学年「ソーラン節」、「かりぼし切り歌」では、二つの民謡を歌い比べ、共通点や相違点を話し合う活動を通して、同じ郷土の民謡にも多様性があることを理解することが可能な内容となっている。 ・第1学年「日本とアジアをつなぐ音」では、箏と同じ発音原理と構造をもつアジアの楽器について、曲を鑑賞して気が付いたことや感じ取ったことを比較することで、奏法や音色、その国特有の音楽文化について理解することが可能な内容となっている。 ・全学年に掲載されている「Let's Try!」では、我が国の伝統音楽やアジアの民族音楽を多く取り扱っており、歌ったりリズムを打ったりする活動を通して、それぞれの音楽の特徴や多様性を理解することが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「ポピュラー音楽図鑑」では、様々なジャンルのシンガーが紹介されており、身近な音楽がどのようにに発展してきたかを理解しながら鑑賞することが可能な内容となっている。
芸	・第1学年「アジアの諸民族の音楽」、第2・3学年上「世界の諸民族の音楽」、第2・3学年下「世界の諸民族の音楽」では、「聴き比べよう」という項目が掲載されており、日本と諸外国の音楽を比較することで共通点と相違点を見だし、多様な音楽文化について理解を深めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「長唄『勸進帳』から」、「義太夫節『野崎村の段』から」、第2・3学年下「謡『敦盛』から」では、間の捉え方や抑揚などが絵譜で示されるところにも、「演奏者からのアドバイス」を生かして声をまねてうたう活動を通して、それぞれの音楽の独特なうたい方や、多様な表現が用いられていることを知り、我が国の伝統音楽の多様さについて理解を深めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「社会を映し出す音楽」、「ポピュラー音楽のジャンル」では、様々な地域、環境、時代、ジャンルの音楽について掲載され、それぞれの特徴や各ジャンルとの関連が示しており、音楽文化の多様性について理解を深めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「伝統音楽の魅力を見つけよう」では、能と歌舞伎、文楽について、同じ表題を扱う演目で比較鑑賞することで、音色と旋律の特徴についてそれぞれのよさや味わいを感じ取り、我が国の伝統音楽の多様性について理解を深めることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容	札幌の自然環境や文化的環境を生かした学習活動を通して、ふるさと札幌への思いを深めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
教 出	・第1学年「ソーラン節」では、歌の解説やニシン漁の写真から北海道との関わりを意識し、作業の様子や当時の人々の暮らしを思い浮かべながら学習することが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「小フーガ ト短調」では、札幌コンサートホール Kitara 大ホールのパイプオルガンの写真が掲載されており、札幌の文化的環境への関心を高めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「時計台の鐘」では、札幌のシンボルである札幌市時計台の写真が掲載されているとともに、「時計台の鐘がなる」や「アカシア」、「ポプラ」といった地域に根付いた歌詞により、札幌の街の様子や自然の風景を思い浮かべながら、思いを込めて歌うことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」、「CMソングをつくろう」では、「みそラーメン」や「北海道」、「ジンギスカン」といった言葉が例として挙げられている。これらを手掛かりに、地域の文化や自然といった視点からふるさと札幌への思いを歌詞に込めて創作することが可能な内容となっている。
芸 教	・第1学年「ソーラン節」では、曲名の由来についての解説やニシン漁の写真から北海道との関わりを意識し、作業の様子や当時の人々の暮らしを思い浮かべながら学習することが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「受け継ごう！郷土の祭や芸能」では、アイヌ古式舞踊をはじめ、郷土の祭りや芸能の種類が写真や地図上で紹介されており、北海道に伝わる音楽に親しむことが可能な内容となっている。

札幌市として設定する調査研究項目

教科	音楽	種目	器楽合奏
----	----	----	------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 基礎的な技能に関する取扱い	写真や図、説明文などが効果的に掲載され、どのように表現したいかという思いや意図を演奏で表すための基礎的な表現の技能を身に付けることが可能な内容となっているか。
		(2) 教具や演奏形態に関する取扱い	いろいろな種類の楽器を演奏したり、学習のねらいにあわせて様々な演奏形態を選択したりすることで、学ぶ意欲を高めることが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」や「国際理解教育の推進」を位置付けている。	(1) 豊かな人間性や社会性を育む学習の取扱い	楽器を演奏したり、音楽をつくりたりする活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容となっているか。
		(2) 国際性を育む学習の取扱い	日本の伝統楽器を演奏したり、諸外国の音楽を楽器で演奏したりすることで、多様な音楽文化についての理解を深めることが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「『ふるさと札幌』を心にもつ学び」を位置付けている。	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い	札幌の自然環境や文化的環境を生かした学習活動を通して、ふるさと札幌への思いを深めることが可能な内容となっているか。
教科別項目			

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 基礎的な技能に関する取扱い
調査研究の具体的内容	写真や図、説明文などが効果的に掲載され、どのように表現したいかという思いや意図を演奏で表すための基礎的な表現の技能を身に付けることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行 教 出	・リコーダーのページでは、「カノン1～3」が掲載されており、身に付けた技能を生かし、カノンの特徴である音を重ねて演奏する楽しさを味わいながら、基礎的な技能の定着を確かめることが可能な内容となっている。 ・箏のページでは、柱（じ）の立て方や爪のつけ方、親指による基本的な奏法などが大きな写真を用いて解説されており、生徒自身が模倣しながら基礎的な技能を身に付けることが可能な内容となっている。
共 教	・リコーダーのページでは、「音の響かせ方」や「音を合わせるときのコツ」といったアドバイスが適宜掲載されており、音色や運指に気を付けながら吹き方を工夫し、技能を身に付けることが可能な内容となっている。 ・箏のページでは、「練習のポイント」や「演奏のポイント」が細かく示されており、そのポイントに留意して演奏することで、基礎的な技能を身に付けることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 教具や演奏形態に関する取扱い
調査研究の具体的内容	いろいろな種類の楽器を演奏したり、学習のねらいにあわせて様々な演奏形態を選択したりすることで、学ぶ意欲を高めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 教 出	・「Let's Play!」、「Let's Try!」では、中学生になじみのある旋律を含めた、多様な演奏形態の楽曲が豊富に掲載されており、生徒の実態や学習のねらいに合わせて演奏形態を選択し、学ぶ意欲を高めることが可能な内容となっている。
教 芸	・打楽器のページでは、いろいろな種類の楽器やその演奏方法が掲載されており、楽器を演奏することへの興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・「千の風になつて」や「A Whole New World」、「打楽器のための小品」は、パートの役割を考えながら様々な楽器の組合せを自由に選択できる編成となっており、楽器の組合せによる響きの違いを探究することが可能な内容となっている。 ・「楽器で Melody」では、様々なジャンルの名曲の旋律を、リコーダー、箏、三味線、篠笛で演奏することで、それぞれの楽器に親しみながら学ぶ意欲を高めることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 豊かな人間性や社会性を育む学習の取扱い
調査研究の具体的内容	楽器を演奏したり、音楽をつくったりする活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
教 出	・「音のスケッチ」の「どこかの街で 不思議な旋律 PART-1」、「どこかの街で 不思議な旋律 PART-2」、「楽器と唱歌によるパッチワーク」では、グループで楽器の音色や響きを生かしながら、全体の構成を工夫して表現したり、「手」というある程度まとまった楽節を生かしたお囃子をつくったりするなど、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容となっている。 ・「Let's Try!」の「千の海響 望の章」では、グループで自由に構成や強弱の設定を工夫しながら演奏する活動を通して、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容となっている。
教 芸	・「学びのコンパス」の「曲の構成を捉えよう」、「音の重なり方の特徴を捉えよう」、「音の曲に対する思いや意図を交流したり、表現の工夫を試したりすることで音楽表現を高め、他者と協働して音楽活動をする楽しさを味わうことが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 国際性を育む学習の取扱い
調査研究の具体的内容	日本の伝統楽器を演奏したり、諸外国の音楽を楽器で演奏したりすることで、多様な音楽文化についての理解を深めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
教 出	・「表現の仕方を調べてみよう」では、日本の伝統楽器と諸外国の楽器の共通点や相違点について考え、その特徴を仲間と交流することを通して、多様な音楽文化についての理解を深めることが可能な内容となっている。 ・「吹く楽器の仲間たち」及び「弾く楽器の仲間たち」では、諸外国の楽器の背景にある文化や伝統について調べたり、楽器の形状を手掛かりにしながら生活様式や流通、貿易等について考えたりすることで、多様な音楽文化についての理解を深めることが可能な内容となっている。
教 芸	・「日本の伝統音楽の楽器編成」では、雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽等で用いられる主な楽器を管、弦、打楽器に分類して紹介することで、我が国の伝統音楽や和楽器への興味を高めながら、我が国の音楽文化に触れることが可能な内容となっている。 ・「バンドの世界をのぞいてみよう」では、中学生になじみのある楽曲の楽譜が掲載されており、日常生活に浸透している音楽について理解を深めることが可能な内容となっている。 ・「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」では、尺八とマリンバ、箏とオーケストラ、津軽三味線とバンドのように、和楽器が伝統的な音楽だけではなく、様々なジャンルの音楽に取り組んでいることが示されており、多様な音楽文化についての理解を深めることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容	札幌の自然環境や文化的環境を生かした学習活動を通して、ふるさと札幌への思いを深めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
教 出	・弾く楽器の仲間たちでは、樺太アイヌの楽器「トンコロ」を演奏している写真が掲載されており、形状や音色等を他の楽器と比較することで、アイヌの楽器への興味をもつことが可能な内容となっている。
教 芸	・篠笛のページでは、檜山郡江差町の郷土芸能「五勝手鹿子舞」の写真が掲載されており、郷土の祭りや芸能との関わりに興味をもつことが可能な内容となっている。

音
(一

樂
般)

音楽の目標について
【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [第1学年] (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 [第2学年及び第3学年] (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「(1) 知識及び技能」、「(2) 思考力、判断力、表現力等」、「(3) 学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、生徒が教科としての音楽を学ぶ意味を一層明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	17・教出	第1学年 第2・3学年 音楽（一般）	音楽・017-72 音楽・017-83 音楽・017-84	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式の関わりを理解したり、曲想を味わいながら合わせて歌う技能を身に付けたりする活動 第2,3学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、歌詞の内容を味わい、曲の構成を理解したり、豊かなハーモニーで歌う技能を身に付けたりする活動			
	○ 創作については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 言葉のリズムやまとまりを理解したり、言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して、音楽をつくる技能を身に付けたりする活動 第2,3学年～ 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、言葉の反復や重ね方を生かして、まとまりのある音楽をつくる技能を身に付けたりする活動			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、用いられる音階や曲の構成などの特徴を理解したり、日本とアジアの声による表現について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動 第2,3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、曲の特徴と曲全体の構成の関わりを理解したり、他の芸術と関係する音楽の役割や効果について考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動			
	○ 〔共通事項〕 については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 教科書冒頭で示された「学習の進め方」をもとに、それぞれの曲の特徴についてまとめたり、音楽を形づくる要素の働きに注目して、気が付いたことや感じ取ったことを話し合ったりする活動 第2,3学年～ 教科書冒頭で示された「学習の進め方」をもとに、テクスチュア(音の重なり方)の変化に注意して歌ったり、舞台芸術の表現から、それぞれの音楽の特徴をまとめ、共通点や相違点について紹介したりする活動			
内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 曲の特徴についてまとめたり、曲の山場(クライマックス)の部分を確認し、その部分の特徴をまとめたりする活動 第2,3学年～ ピアノ伴奏が変化する効果について、感じ取ったことをまとめたり、フレーズや形式を理解して、ブレスの取り方を工夫して歌ったりする活動			
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、言葉の自然なリズムや抑揚を聴き取り、反復や重ね方による全体の構成を考えながら創作できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第2,3学年～ 「曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう」において、フレーズや速度の変化を生かし、合唱で表現するときの指揮の仕方について音楽の特徴と合わせて考えるなど、系統的・発展的に学習できる工夫			
使用上の配	○ ユニークな活動を展開するピアニストから中学生に向けたメッセージや、人と社会とのつながりを生み出す取組を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。			
	○ アイコンやマーク等で、学習の見通しや活動例を示したり、楽曲のよさや魅力についてまとめるコーナーを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができる			

慮等	ような工夫がなされてる。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、カラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、まなびリンク（二次元コード）を掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	27・教芸	第1学年 第2・3学年 音楽（一般）	音楽・027-72 音楽・027-83 音楽・027-84	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下
取扱内容	○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、歌詞と曲の構成との関係を理解したり、音色や強弱を工夫して歌う技能を身に付けたりする活動 第2,3学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、声部の関わり合いを理解したり、曲想の変化やパートの重なりを生かして歌う技能を身に付けたりする活動			
	○ 創作については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 和音の動きに合わせた音のつながり方を理解したり、表したい場面を選び、構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付けたりする活動 第2,3学年～ リズムの重なり方による特徴を理解したり、和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくる技能を身に付けたりする活動			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、映像の中で音楽が果たす役割を理解したり、音楽の特徴と歌詞が表す情景や心情について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動 第2,3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声による表現の特徴を理解したり、作曲者が記した標題や解説などから作品にこめられた思いについて考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動			
	○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 目次の後に1年間の学びを俯瞰することができるページ「学びの地図」をもとに、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、自分たちの表現を工夫したりする活動 第2,3学年～ 目次の後に1年間の学びを俯瞰することができるページ「学びの地図」をもとに、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、音色や旋律に着目して、伝統音楽を聞き比べて特徴をまとめたりする活動			
内容の構成・排列	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 聴き取ったことと感じ取ったことをまとめたり、演奏を聴いて確認したことをもとに気付いたことや考えたことをまとめたりする活動 第2,3学年～ 言葉のまとまりや抑揚を意識しながら、歌詞を音読したり、声の音色や速度、リズムの変化を感じ取り、表現を工夫して謡ったりする活動			
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「リズムチャレンジ」において、リズムを選び、そのリズムを繰り返したり、リズムを変化させたりして、リズムアンサンブルを創作できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第2,3学年～ 「伝統音楽の魅力を見つけよう」において、音楽を聴いて気付いたことをまとめ、地域に伝わる祭りや芸能に取り組む意義を考えるなど、系統的・発展的に学習できる工夫			
使用上の配	○ 各界で活躍する方の中学生に向けたメッセージや、様々な角度から音楽を捉え、より幅広い価値観をもつことができる「音楽って何だろう？」を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。			
	○ どのような曲なのかを簡潔に示す楽曲の紹介文を示したり、「問いかけ」による考えたいポイントを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような			

慮等	工夫がなされてる。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、色覚特性への配慮をしたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

＜音楽(一般)の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 表現（歌唱、創作）及び鑑賞にかかわるページ数及び総ページ数② 我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数 |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、表現（歌唱、創作）及び鑑賞にかかわる全体としての分量について把握する必要があるため。② 生徒が我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくことのさらなる充実が求められていることから、我が国や郷土の伝統音楽の取扱いについて把握する必要があるため。③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。 |
|---|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				教出			教芸		
				1	2・3上	2・3下	1	2・3上	2・3下
① 表現（歌唱、創作）及び鑑賞にかかわるページ数及び総ページ数	A表現・歌唱	ページ数		51	44	40	48	44	44
		全体に占める割合		55%	49%	43%	49%	45%	45%
	A表現・創作	ページ数		5	4	4	5	5	4
		全体に占める割合		5%	4%	4%	5%	5%	4%
	B鑑賞	ページ数		20	23	17	25	21	23
		全体に占める割合		22%	25%	18%	26%	21%	23%
	その他	ページ数		16	21	31	20	28	27
		全体に占める割合		17%	23%	34%	20%	29%	28%
	総ページ数			92	92	92	98	98	98
	前回の総ページ数			92	92	92	98	98	98
	増減			0%	0%	0%	0%	0%	0%
②	我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数			23	31	33	27	32	40
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			6	3	2	9	2	3

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	学年	教科書の構成(該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	1	学習マップ(P9) 日本の歌 みんなの歌 (P22)	民謡名 説明	ソーラン節 A Message for Youに示された作詞者三木露風の思 い出の中で、北海道函館市付近のトラピスト修道院で 作曲したことの説明
		民謡の特徴を捉えてふさ わしい声で歌おう(P34)	楽譜 説明	ソーラン節 北海道の日本海沿岸のニシン漁で歌われていたこと の説明
		郷土のさまざまな民謡 (P36、37)	地図 民謡名	日本地図 ソーラン節(北海道民謡)、江差追分(北海道民謡)、 チュプカ ワ カムイラン(アイヌ民謡)
		日本とアジアの声による さまざまな表現(P58)	写真	江差追分(北海道)
	2・3上	曲の形式を捉え、パイプ オルガンによる表現を鑑 賞しよう(P36)	写真	パイプオルガン 札幌コンサートホールKitara大ホール
		歌のアルバム(P78)	曲名 写真	時計台の鐘 札幌時計台
		歌のアルバム(P79)	写真 地域の名称 説明	大雪クリスタルホール 北海道旭川市 大雪クリスタルホール(北海道旭川市)内にある作詞 者の詩碑の説明
	2・3下	CMソングをつくろう (P32、33)	キャッチコピー	北海道、名物、ジンギスカン
教 芸	1	「中学生の音楽1」の学 習内容(P8)	曲名	ソーラン節
		イメージと音楽(P37)	作曲者	伊福部 昭
		声や音楽の特徴を生かし て日本の民謡を歌おう (P60、61)	民謡名 採譜 監修者・写真 写真 地域の名称 説明	ソーラン節 ソーラン節の節回し 伊藤多喜雄 昭和時代初期のニシン漁の様子 北海道古平郡 江戸時代から昭和時代初期にかけて、北海道の日本 海側沿岸でニシン漁が盛んであり、その際に歌われ たことの説明
		郷土に伝わる民謡を調べ よう(P62)	地図 民謡名	日本地図 ソーラン節、江差追分
		日本音楽に関する言葉 (P63)	民謡名	ソーラン節(北海道)
		心通う合唱(P76、77)	説明	北海道のテレビ局で制作された番組のエンディング テーマであることの説明
		音楽を形づくっている要 素(P92)	イラスト 民謡名	ソーラン節の掛け声 ソーラン節
	2・3上	受け継ごう! 郷土の祭り や芸能(P68、69)	写真 全国の郷土の祭りや芸能の例 地図	アイヌ古式舞踊(北海道) アイヌ古式舞踊 日本地図
	2・3下	社会を映し出す音楽 (P40)	作曲家	伊福部 昭

		ポピュラー音楽のジャンル (日本編) (P62、63)	曲名	「津軽海峡冬景色」※歌詞：連絡船の情景
			歌手名	演歌：北島三郎※知内町出身
			グループ名	J-POP：サカナクション
				※メンバーの一部が、小樽市、札幌市出身

音 楽
(器楽合奏)

音楽の目標について
【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [第1学年] (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 [第2学年及び第3学年] (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「(1) 知識及び技能」、「(2) 思考力、判断力、表現力等」、「(3) 学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、生徒が教科としての音楽を学ぶ意味を一層明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第1・2・3学年	器楽・017-72	中学器楽 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりする活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・曲の背景を理解したり、楽器の音色や響きを生かして、全体の構成を工夫したりして演奏する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・活動のポイントや運指図を確認できるようにしたり、動画コンテンツで模範演奏を視聴したりして演奏する活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・篠笛の演奏において、一人で旋律を吹く活動のあとに、学習した曲を重ねて演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫			
使用上の配慮等		○ 多彩な合奏曲を掲載したり、中学生になじみのある旋律を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 楽器の構え方などの詳細な写真を掲載したり、段階的に身に付く演奏の仕方を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、カラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、まなびリンク（二次元コード）を掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		27・教芸	第1・2・3学年	器楽・027-72	中学生の器楽
取 扱 内 容	○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・曲全体の構成を理解したり、パートの役割に合う音色や強弱を工夫して演奏する技能を身に付けたりする活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・音色や音の重なり方の特徴を理解したり、音色を考えながら楽器の組み合わせ方を工夫したりして演奏する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「学びのコンパス」で学習の手順を確認できるようにしたり、デジタルコンテンツで学習に役立つ資料を視聴したりして演奏する活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・ギターの演奏において、奏法の違いを学習したのあとに、奏法の違いを生かして、重奏で演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫				
使用上の配慮等	○ 打楽器奏者のコラムを掲載したり、同世代の音楽活動を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示したり、考えたいポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、色覚特性への配慮をしたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。				
その他	※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。				

様式 3

＜音楽(器楽合奏)の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- ① 表現（器楽）にかかわるページ数及び総ページ数
- ② 和楽器を扱うページ数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、表現（器楽）にかかわる全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 表現（器楽）の指導において、生徒が我が国や郷土の音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫することが求められていることから、和楽器の扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	教出	教芸
①	表現（器楽）にかかわるページ数及び総ページ数	A表現・器楽	ページ数	86	85	
			全体に占める割合	81%	80%	
		その他	ページ数	20	21	
			全体に占める割合	19%	20%	
		総ページ数			106	106
		前回の総ページ数			106	106
		増減			0%	0%
②	和楽器を扱うページ数			51	41	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			1	5	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目③[北海道と関わりのある内容] の具体的な内容

者	年	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	全 学 年	発展 弾く楽器の仲間たち（P57）	写真	トンコリ
			説明	樺太アイヌの楽器。江戸時代には宗谷（北海道）のアイヌにもあったことの説明
教 芸	全 学 年	巻頭ページ（P 2、3）	写真	「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」
			説明	石若駿（打楽器奏者、ドラマー） 北海道生まれ
		篠笛（P56）	写真	篠笛を使った各地に伝わる郷土の祭りや芸能
			地域の名称	五勝手鹿子舞 檜山郡江差町
		全体の響きを確かめながら演奏しよう。（P80、81）	曲名	千の風になって ※曲の誕生地が七飯町

令和7年度から使用する 中学校用、中等教育学校(前期課程)用教科用図書 調査研究報告書(答申)「美術小委員会」

調査研究の経過及び内容等

1 調査研究の経過及び内容

- (1) 第1回(審議) 5月22日(水) 18:30~19:15
- ・調査研究項目の設定について
 - ・調査研究の流れ、日程、役割分担
- (2) 第2回(調査研究会議) 5月29日(水) 18:00~20:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (3) 第3回(調査研究会議) 6月6日(木) 18:00~20:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (4) 第4回(調査研究会議) 6月11日(火) 18:00~21:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (5) 第5回(調査研究会議) 6月19日(水) 18:00~21:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (6) 第6回(調査研究会議) 6月26日(水) 18:00~21:00
- ・採択参考資料を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (7) 第7回(調査研究及び審議) 7月3日(金) 18:00~20:30
- ・市民意見、学校意見を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、答申案の審議、決定

2 調査研究対象の教科用図書

「美術」

- ・開隆堂 (9) 「美術1」
「美術2・3」
- ・光村 (38) 「美術1」
「美術1資料」
「美術2・3」
- ・日本文 (116) 「美術1 美術との出会い」
「美術2・3上 学びの実感と深まり」
「美術2・3下 学びの探求と未来」

札幌市として設定する調査研究項目

教科	美術	種目	美術
----	----	----	----

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1 共通項目	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	表現及び鑑賞の活動において、感性や想像力を働かせ、他者と関わりながら自己対話を繰り返し、見通しをもって主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっているか。
		(2) 資料の取扱い	多様な図版や資料ページなどが掲載され、美術に対する興味・関心を引き出すとともに、造形的な見方・考え方を働かせながら、表現及び鑑賞の学習に活用することが可能な内容となっているか。
2 教科別項目	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」や「国際理解教育の推進」を位置付けている。	(1) 豊かな人間性や社会性を育む学習の取扱い	表現及び鑑賞の活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けたり認め合ったりすることが可能な内容となっているか。
		(2) 国際性を育む学習の取扱い	日本や諸外国の美術や美術文化との相違点や共通点に気付き、美術を通して国際理解や美術文化の継承と創造について考えることが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、『ふるさと札幌』を心にもつ学び」を位置付けている。	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い	札幌の自然環境や文化的環境を生かした学習活動を通して、ふるさと札幌への思いを深めることが可能な内容となっているか。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	表現及び鑑賞の活動において、感性や想像力を働かせ、他者と関わりながら自己対話を繰り返し、見通しをもつて主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	・各題材のページでは、学習の流れに沿って「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の小見出しとともに活動の具体が示されており、題材の目標との関連や身に付けられる資質・能力を意識しながら、主体的に取り組むことが可能な構成となっている。 ・第1学年「イメージを伝える形」では、身の回りやマークの機能や意図について考えるところに、例示されたマインドマップによる発想の広げ方を参考にしながら、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「私が見つめた風景」では、「鑑賞」の小見出しやキャラクターの吹き出しにおいて鑑賞の着眼点が示されるところに、構図や色彩の工夫について詳しく掲載されており、感性や想像力を働かせて主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「伝えたいメッセージ」では、参考作品や生徒のアイデアスケッチの例から、映像メディアの特徴や表現方法を理解するとともに、巻末資料「これってどう撮るの」においてカメラの様々な設定を学ぶことで、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。
開隆堂	・各題材のページでは、「鑑賞」→「表現」(→「鑑賞」)の学習の流れに沿って活動の具体が示され、「みんなの工夫」では、生徒の発想・構想段階が詳しく掲載され、同じ中学生の取組を参考にしながら、見通しをもって主体的に学習に取り組むことが可能な構成となっている。 ・第1学年「心ひかれるこの風景」では、見慣れた風景を様々な視点で捉えた写真例とともに、「みんなの工夫」において作者の思いやアイデアが掲載されており、それらを参考にしながら発想や構想を膨らませ、見通しをもって主体的に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第1学年「暮らしをいざろる文様」では、世界各地の様々な文様が多数掲載され、吹き出しにある「POINT」を参考にしながら、他者との対話を通して鑑賞を深める場面が設定されており、感性や想像力を働かせ、他者と関わりながら主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「今の自分、これからの自分」では、6ページに渡り生徒や作家による幅広い表現の自画像が掲載されており、作者の思いに迫ることで自分を表すことへの考えを深めるとともに、「みんなの工夫」における4名の中学生の発想・構想の工夫を参考にしながら、感性や想像力を働かせ、見通しをもって主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「印象に残る映像表現」では、テレビCMを例に絵コンテが掲載されており、映像作品の特徴や効果を考えながら鑑賞するとともに、別冊資料「映像を制作する」の制作や編集に関わる詳しい資料を活用して、主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。
光 村	・各題材のページでは、「鑑賞の入り口」に参考作品を鑑賞する際の問いが示されるところに、「表現のヒント」では発想・構想や技能面のヒント、「造形的な視点」では鑑賞の着眼点が掲載されており、それらを手掛かりにしながら学習に取り組むことが可能な構成となっている。 ・第1学年「文字が生み出すイメージ」では、文字や言葉のイメージを表した様々な作品例とともに、アイデアスケッチの例やデザイナーの言葉などが掲載されており、文字の様々な表現方法や役割について学びながら取り組むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「わたし自身を見つめて」では、4ページに渡り生徒や作家の自画像が掲載されており、「表現のヒント」にある自己分析シート等を参考にしながら、自己対話を繰り返して主体的に学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「動きで伝えるメッセージ」では、動画作品の様々なテーマが掲載されており、映像表現の特徴や効果を考えるところに、巻末資料「動画で表現する」の制作や撮影に関わる詳しい資料を活用しながら、見通しをもって学習に取り組むことが可能な内容となっている。
日 文	

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 資料の取扱い
調査研究の具体的内容	多様な図版や資料ページなどが掲載され、美術に対する興味・関心を引き出すとともに、造形的な見方・考え方を働かせながら、表現及び鑑賞の学習に活用することが可能な内容となっているか。		

調査研究結果			
発行者	開隆堂	・表紙が実際の作品をイメージさせる質感となっており、見て触って楽しみ、美術の学習への興味・関心を高める工夫がなされている。 ・全体や一部を切り取って拡大した図版や、原寸大の図版が随所に掲載されており、作品への興味・関心を引き出すとともに、造形的な見方・考え方を働かせながら鑑賞の学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第1学年の巻末資料「鑑賞ってなんだろう」では、鑑賞の方法や、自分なりの見方や感じ方を大切にすること、他者の異なる見方や感じ方も大切にすることなどが示され、中学校で本格的に鑑賞を学ぶ1年生が、今後の学習に活用することが可能な内容となっている。 ・「美術の用語」のコーナーでは、美術用語についての解説が掲載されており、表現及び鑑賞の学習に活用することができる。 ・第2・3学年の巻頭資料「私たちに身近な美術」では、子どもに親しみのある漫画の作品が掲載されている。 ・第1学年の巻末資料「著作権を知ろう」では、著作権に関するルールが分かりやすく掲載されるとともに、第2・3学年の巻末資料「これってどう撮るの」においても著作権や肖像権等について掲載され、表現及び鑑賞の学習に活用することが可能な内容となっている。	
光 村		・別冊資料では、様々な描画材や用具の使い方、発想・構想段階の取り組み方などが掲載され、3年間を通して表現及び鑑賞の学習に活用することが可能な内容となっている。 ・見開きによる大きな図版や、原寸大の図版が随所に掲載されており、作品への興味・関心を引き出すとともに、造形的な見方・考え方を働かせながら鑑賞の学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第1学年の巻末資料「美術鑑賞を楽しむ手がかかり」では、印象的な大きな図版や鑑賞の流れが示されるとともに、「国語科とのつながり」のコーナーでは、美術鑑賞を広げる言葉が掲載され、中学校で本格的に鑑賞を学ぶ1年生が、今後の学習に活用することが可能な内容となっている。 ・「他教科とのつながり」がコラムとして随所に設定されており、美術に対する興味・関心を引き出すことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」では、和紙の質感を感じさせる紙を使用することで実際の作品をイメージできるようにしており、美術に対する興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・別冊資料「写真を撮影する」「映像を制作する」では、「注意」のコーナーにプライバシーの侵害や著作権等について掲載されている。	
日 文		・表紙から裏表紙にかけて作品が続いて掲載されるとともに、巻頭資料でその作品や関連した作品について学ぶことができ、美術の学習への興味・関心を高める工夫がなされている。 ・見開きによる大きな図版や、原寸大の図版、折り目を付けて立体的に屏風絵の鑑賞ができる図版などが掲載され、作品への興味・関心を引き出すとともに、造形的な見方・考え方を働かせながら鑑賞の学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・第1学年の巻末資料「発想・構想の手立て①・②」では、アーティストや生徒が、作品をつくるまですでにどのようにに発想・構想しているかについて掲載されており、その考え方や方法を今後の学習に活用することが可能な内容となっている。 ・各題材の随所に設定されたコラムのコーナーでは、題材に関連した様々な情報が掲載されている。 ・写真や動画を扱う題材や巻末資料では、「注意しよう」のコーナーにプライバシーの侵害や著作権等について掲載されている。	

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 豊かな人間性や社会性を育む学習の取扱い
調査研究の具体的内容	表現及び鑑賞の活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けたり認め合ったりすることが可能な内容となっているか。		
発行者	調査研究結果		
開隆堂	・第1学年「その人らしさが大切」では、友達の人らしさを絵に表す活動を通して、自他の個性を認め合うことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「ひと目で伝える表示」では、生活の中にあるピクトグラムの例が掲載されており、すべての人にとって分かりやすいデザインを考える活動を通して、自他の発想や感じ方に気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「生活を楽しむ心地よく」では、どのような空間がより多くの人にとって快適かについて考える活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けるとともに、美術の学習が豊かな社会の創造につながることに気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「つながるデザイン」では、誰も排除せずみんなで一緒にというインクルーシブの意味を学び、自他の発想や感じ方を見付けたり認め合ったりできるとともに、あらゆる人が共に生きる社会の実現について考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年の巻末資料「美術と私と社会」では、美術に関わりながら社会で活躍する人たちの作品やメッセージが掲載されており、対話を通して、自他を尊重することや美術を通して社会と豊かにつながることを考えることが可能な内容となっている。		
光村	・第1学年「その人らしさを捉える」では、友達の人らしさを絵に表す活動を通して、自他の個性を認め合うことが可能な内容となっている。 ・第1学年「発想のしかたはさまざま」では、リングをもとに作品のアイデアを生み出す活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けたり認め合ったりすることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「形と色の挑戦」では、自己の感情などを抽象的に表現する活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けたり認め合ったりできるとともに、続く「明日の神話」の鑑賞では、多様な感じ方や社会問題への理解を深め、人間性や社会性を育むことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「みんなのためのデザイン」では、「ユニバーサルデザインの7原則」が掲載されており、多くの人が使いやすいデザインを考える活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けるとともに、美術の学習が豊かな社会の創造につながることに気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年の巻末資料「美術の力」では、個性を認める力やアールブリュットについて掲載されており、自他を尊重することや美術が社会に働きかける力があることについて考えることが可能な内容となっている。		
日 文	・第1学年「人間っておもしろい」では、友達の人らしさを絵に表す活動を通して、自他の個性を認め合うことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「イメージを形にすると」では、感覚や感情などを抽象的に表現する活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けたり認め合ったりできるとともに、巻末資料の岡本太郎の鑑賞では、美術と社会の関わりについて気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「使う人の立場で考える」「デザインの力でできること」では、多様な人が使いやすい道具や設備などについて考える活動を通して、あらゆる人が共に生きる社会の実現について考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「住み続けられる町づくり」では、使う人の利便性や安全性に配慮し、安らぎや快適さが感じられる環境デザインについて考える活動を通して、自他の発想や感じ方を見付けるとともに、あらゆる人が共に生きる社会の実現について考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下の巻末資料「多様性と共同制作」では、アールブリュットや共同制作、社会と関わる美術作品の例が掲載されている。		

調査研究項目	No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 国際性を育む学習の取扱い
調査研究の具体的内容		日本や諸外国の美術や美術文化の相違点や共通点に気づき、美術を通して国際理解や美術文化の継承と創造について考えることが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果			
開隆堂	・第1学年「江戸の美術の面白さ」では、江戸時代の風神雷神図屏風や樹花鳥獣図屏風の作品が、見開きや一部原寸大で掲載されとともに、浮世絵や絵巻物などの様々な美術作品が掲載されており、日本の美術文化のよさや美しさを味わうことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「受け継がれる美術」「文化を守り、育む」では、長く大切に守り続けられてきた建築や伝統工芸品などが掲載されており、日本の美術文化について理解を深めるとともに、日本の美術文化の継承について考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「仏像が表す世界」では、立体曼荼羅や様々な仏像が4ページに渡り掲載されており、造形的な意味や特徴に気付くとともに、よさや美しさを味わい、日本の美術文化について興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年の巻末資料では、日本と西洋の美術作品を比較鑑賞できる図版や、影響を受けた日本と世界の作品が分かりやすく示された美術史の年表、様々な世界遺産、季節や伝統文化とのつながりが分かる日本の伝統色など、日本や諸外国の美術文化に関する資料が豊富に掲載されている。 ・第2・3学年の巻末資料「持続可能な未来へ」では、SDGsのマークとそれに対応した美術作品などが掲載されており、SDGsの視点から国際理解を深めることが可能な内容となっている。			
光村	・第1学年「『風神・雷神像』と『風神雷神図屏風』を鑑賞しよう」では、見開きで彫刻と屏風絵が大きく掲載されとともに、作者の異なる複数の屏風絵が掲載されており、表現の違いやその効果などに気づき、日本の美術文化への理解を深めることが可能な内容となっている。 ・第1学年「世界の仮面と出会い」では、日本や諸外国の伝統的な仮面が多数掲載されており、形や色彩、材料の多様性に気付くとともに、地域や時代を超えた共通点を見出し、世界の美術文化への興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」では、絵画や浮世絵、屏風絵など様々な日本の美術作品が五つのテーマに沿って多数掲載され、続く「ゴッホと浮世絵」の鑑賞と合わせて、日本の美術文化や西洋美術への影響について理解を深めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「ゲルニカを鑑賞しよう」では、内戦当時のスペインの街や制作中のピカソの写真、見開きの大きな図版、作品の制作過程や作家紹介など、豊富な資料が掲載され、美術を通して国際理解や美術が社会に果たす役割について学ぶことが可能な内容となっている。 ・別冊資料「日本と世界の伝統色図鑑」では、伝統色の名前の由来を知り、日本と世界の色の豊かさについて味わうことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年の巻頭資料「私たちに問いかける美術」では、SDGsのマークとそれに対応した美術作品が掲載されており、SDGsの視点から国際理解を深めることが可能な内容となっている。			
日本文	・第1学年「原始の美に出会う旅」や巻末資料では、ラスコーの洞窟壁画や火焰型土器、世界各地の原始美術を掲載し、造形的なよさを味わいながら、作品に込められた思いや美術文化について考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「浮世絵っておもしろい」では、見開きの浮世絵や職人の役割などが掲載され、続く「日本文化との出会い」では、日本と西洋の美術作品が比較鑑賞できるように掲載されており、日本と西洋の美術や美術文化について理解を深めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上「日本の技と心を受け継いで」では、日本の様々な地域の伝統工芸が掲載されており、日本の伝統工芸のよさや美しさ、技術の素晴らしさなどについて気付き、日本の美術文化の継承について考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「どこまで修復すべきか」では、西洋の美術作品や日本の伝統建築における美術文化の継承について掲載されており、様々な作品の修復についての考えに気付くとともに、美術文化の意義などについて考えることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「あの日を忘れない」では、見開きで「誕生」と「ゲルニカ」の図版が掲載され、自然災害の脅威や戦争の悲惨さなどを美術で語り継ぐことができることに気付き、美術を通して国際理解や美術が社会に果たす役割について学ぶことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下の巻末資料では、絵巻物の見方や現代の漫画表現とのつながり、日本の世界遺産、日本や世界の伝統工芸など、日本や諸外国の美術文化に関する資料が豊富に掲載されている。			

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容		札幌の自然環境や文化的環境を生かした学習活動を通して、ふるさと札幌への思いを深めることが可能な内容となっているか。	

調査研究結果			
発行 者 開隆堂	・第1学年「イメージを伝える形」では、札幌き章が掲載されており、そのデザイン表現の意図に触れることが可能な内容となっている。 ・第1学年の巻末資料「鑑賞ってなんだろう」では、札幌芸術の森美術館に所蔵されている舟越桂の作品が掲載されている。 ・第1学年「構成の美しさ」ではアイヌの民族衣装、第2・3学年「持続可能な未来へ」では「ウポポイ」が掲載されている。 ・第1学年の巻末資料「美術館へ行こう」では、館内のイラストで一般的な美術館の仕組みを知ることができ、地域の美術館への興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「目にとまる心にとまる」では、小樽を紹介するポスターを制作する生徒の取組例が掲載されており、札幌の魅力を発信する題材に置き換えて取り組むことが可能な内容となっている。		
	・第1学年「印象に残るロゴマーク」では「ウポポイ」のマーク、「暮らしをいろどる文様」ではアイヌ民族の衣服の文様、第2・3学年の巻末資料では「二風谷イタ」やアイヌの民族衣装が掲載されており、アイヌの文化について触れることが可能な内容となっている。 ・第1学年「文字で楽しく伝える」では、地域の特徴を伝えるためのポストカードや、生活の中の文字を探す活動が掲載されており、札幌や地域に目を向けることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「環境とともに生きる彫刻」では、大通公園に設置されているイサム・ノグチの彫刻遊具や、札幌芸術の森美術館においても馴染みのあるマルタ・パンの作品が掲載されており、札幌の文化的環境の豊かさに気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年「地域の魅力を表すパッケージ」では、地域の魅力を表す作品例として、六花亭のパッケージが掲載されている。 ・第1学年の巻末資料「美術館を楽しもう」では、美術館の役割等が掲載されており、地域の美術館を活用する際の参考とすることができる。		
日 文	・第1学年の巻末資料「美術館へ行こう」では、美術館の役割等の説明とともに札幌芸術の森野外美術館が掲載されており、地域の美術館への興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・第2・3学年上の巻末資料「暮らしに息づくパブリックアート」では、モエレ沼公園のイサム・ノグチの作品や、旭川市の買物公園にある野外彫刻が掲載されており、札幌や北海道の文化的環境の豊かさに気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「あなたのイメージを探そう」では、札幌市内にも作品が数点設置されている北海道出身の安田侃の作品が掲載されており、札幌の文化的環境の豊かさに気付くことが可能な内容となっている。 ・第2・3学年下「自分を表現する色」ではアイヌの民族衣装、巻末資料「受け継ぐ伝統と文化」では「二風谷イタ」が掲載されている。 ・第2・3学年下の巻末資料「札幌の景観色カラーチャート」では、色や色名から札幌の特徴やよさに気付き、札幌への愛着を深めることできる。		

美術

美術の目標について
【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [第1学年] (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 [第2学年及び第3学年] (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

目標は、次のような視点を重視して改善を図る。

教科の目標では、美術は何を学ぶ教科なのかということを明示し、感性や想像力を働かせ、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを一層重視する。そのため、育成を目指す資質・能力を明確にし、生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、これらが実現できるよう以下のように目標を示した。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・009-72 美術・009-82	美術1 美術2・3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身近な人の姿や自分の大切にしているものを観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 墨の濃淡や筆遣いによって、空間の広がりや奥行きのある絵を描いたり、さまざまな出来事や心に残る情景を立体的に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動			
		○ デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身のまわりにある形や色彩から模様を考えたり、木の特徴を生かした使いやすい工芸品をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第2,3学年～ 世界観や魅力を伝えるためのイラストレーションのデザインを考えたり、使う人々が心地よく過ごせる空間のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動			
内 容 の 構 成 ・ 排 列		○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 作品を見て、それを味わい、自分で感じたことから作者の意図や自分なりの解釈について話し合う活動を通して、表現の工夫や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第2,3学年～ 図屏風や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、たくさんの芸術家の作品に影響を与えた美術文化についての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「イメージを伝える形」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ロゴタイプの形や色彩について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「イメージを形にして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の思いや材料などをもとに表現方法について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動			
使 用 上 の 配 慮 等		○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「ずっと木といっしょに」の題材において、木目を生かして、握りやすいナイフを紹介し、家庭科との関連する写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第2,3学年～ 「文化を守り、育む」の題材において、捨てずに資源として再利用する南部裂織を紹介し、社会科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫			
		○ 巻末で、「学びの資料」（全学年）として、表現活動や制作する中で必要となる地意識や技法などを紹介したり、「持続可能な未来へ（第2,3学年）」では、ウポボイを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用			

	用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		38・光村	第 1 学年 第 2・3 学年	美術・038-72 美術・038-73 美術・038-82	美術 1 美術 1 資料 美術 2・3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 身近な人のもつ雰囲気を、表情やしぐさから捉えて絵を描いたり、自然物の美しさや特徴などを形や色彩、質感などから捉えたりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第 2, 3 学年～ 目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、空想の世界の動物を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動			
		○ デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 形や色彩が見る人に与える効果を理解してロゴマークのデザインを考えたり、使いやすさや装飾の美しさを考えて焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第 2, 3 学年～ 地域の魅力を表すパッケージのデザインを考えたり、人々が利用しやすい公共施設のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動			
内 容 の 構 成 ・ 排 列		○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 版画の線や面、色の重なりなど表現のよさや特徴について話し合う活動を通して、版画と絵の表現の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第 2, 3 学年～ 浮世絵の大胆な構図と明快な色彩など、日本の美術と西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品についての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの風景を描いた作者の思いや表現の工夫について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第 2, 3 学年～ 「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が与える印象や効果について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動			
使 用 上 の 配 慮 等		○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学年～ 「暮らしをいろどる文様」の題材において、エッセイの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第 2, 3 学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫			
		○ 巻末で、「学習を支える資料」（全学年）として、美術作品の鑑賞方法などを紹介したり、「北と南の民族衣装」（第 2, 3 学年）では、アイヌ民族の伝統的な衣装を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり（全学年）、の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1 人 1 台端末を活用			

	用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		116・日文	第 1 学年 第 2・3 学年	美術・116-72 美術・116-83 美術・116-84	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第 2, 3 学年～ 視点の違いや構図の工夫して印象の変化を生かして絵を描いたり、動物の特徴やイメージを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 自然物や人工物の特徴から模様を考えたり、木の質感や特性、形や色彩に着目し、使う場面を考えて道具をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第 2, 3 学年～ 布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり、過ごす人の思いなどを考えて環境のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 原始美術の造形的なよさや意図について話し合う活動を通して、当時の人々の願いや作者の意図や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第 2, 3 学年～ 現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 「材料に命を吹き込む」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの材料などの形や色彩の特徴について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第 2, 3 学年～ 「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中身のイメージをもとに美しさや伝達の効果について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学年～ 「自然の美しさから生まれた」の題材において、建築や芸術作品に生かされている黄金比を紹介し、数学科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第 2, 3 学年～ 「どこまで修復すべきか」の題材において、美術文化の継承の意義や方法などを紹介し、道徳との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫			
		○ 巻末で、「学びを支える資料」（全学年）として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、「暮らしに息づくパブリックアート」（第 2, 3 学年）では、道内の屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、造形的な視点を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1 人 1 台端末を活			

	用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和 7 年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

＜美術の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 題材（「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞」）ごとのページ数及び総ページ数② 材料・用具等の安全指導を取り上げている箇所数③ 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数 |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている表現及び鑑賞の内容を適切に指導することが求められていることから、題材ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。② 学習指導要領において、事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底することが求められていることから、材料・用具等の安全指導について把握する必要があるため。③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。 |
|---|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者		開隆堂		光村			日文		
				1	2・3	1	1資料	2・3	1	2・3上	2・3下		
①	題材ごとのページ数及び総ページ数	絵や彫刻	ページ数	18	32	22	0	22	16	12	15		
			全体の占める割合	25%	25%	32%	0%	21%	22%	19%	25%		
		デザイン	ページ数	18	28	14	0	16	16	16	10		
			全体の占める割合	25%	22%	21%	0%	15%	22%	25%	17%		
		鑑賞（※）	ページ数	11	25	18	0	48	14	13	14		
			全体の占める割合	15%	20%	26%	0%	45%	19%	20%	23%		
		その他	ページ数	25	43	14	34	20	28	23	21		
			全体の占める割合	35%	33%	21%	100%	19%	37%	36%	35%		
		総ページ数			72	128	68	34	106	74	64	60	
		前回の総ページ数			66	122	80		104	74	64	60	
		増減			9%	5%	-15%		2%	0%	0%	0%	
②	材料・用具等の安全指導を取り上げている箇所数（※2）			2	4	0	12	1	6	4	2		
③	北海道とかかわりのある内容（北海道に関する作品、図、画像等）を取り上げている箇所数			3	3	4	0	7	3	4	8		

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※1) 調査項目①の鑑賞の題材は、独立した鑑賞の題材または鑑賞を中心とした題材を対象とし、まとめや学習の補助教材としての扱いとする鑑賞活動、表現と関連を図った鑑賞活動の内容は含まないものとする。

(※2) 調査項目②の安全指導については、囲みやマークで示されている箇所数である。

様式 5

様式 4 の調査項目③「北海道とかかわりのある」の具体的な内容

者 姓	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
開隆堂	1 構成の美しさ（P. 39）	写真	ルウンペ アイヌ民族文化財団蔵（北海道）
	イメージを伝える形（P. 42）	マーク	札幌市き章
	鑑賞ってなんだろう（P. 61）	解説	舟越桂 札幌芸術の森美術館蔵（北海道）
	2 目にとまる 心にとまる（P. 70）	写真	小樽市の風景写真
	・ 持続可能な未来へ（P. 114）	写真	ウポポイ（北海道）
	3 持続可能な未来へ（P. 114）	写真	国立アイヌ民族博物館（北海道）
光村	1 印象に残るロゴマーク（P. 50）	図	ウポポイ（民族共生象徴空間）のロゴマーク
	暮らしをいろどる文様（P. 53）	写真	アイヌ民族の衣服の文様 旭川市博物館蔵（北海道）
	木と親しむ暮らし（P. 63）	写真	「君の椅子」プロジェクト（旭川家具）
	芸術祭へ行こう（P. 67）	写真	札幌国際芸術祭（北海道）
	2 日本の絵画を楽しむ五つのキーワード（P. 39）	写真	山（富士山）片岡球子（北海道出身）
	・ 環境とともに生きる彫刻（P. 46）	写真	ブラック・スライド・マントラ イサム・ノグチ（北海道札幌市）
	3 印象に残る映像表現（P. 75）	写真	Shadow as Athletes 佐藤匡（北海道出身）
	地域の魅力を表すパッケージ（P. 88）	写真	チョコレートのパッケージ 坂本直行（北海道出身）
	地域の魅力を表すパッケージ（P. 91）	写真	たんちょうクッキー 釧路湿原
	日本の伝統工芸（P. 101）	写真	二風谷イタ（北海道）
日 文	北と南の民族衣装（P. 103）	写真	アットゥシアミブ（北海道）
	1 文字が生み出すイメージ（P. 40）	解説	炭鉄港ロゴマーク 大倉加奈（北海道）
	暮らしの中の木の工芸（P. 49）	解説	ペーパーウェイトふくろう 吉岡俊哉（北海道）
	美術館へ行こう（P. 73）	写真	札幌芸術の森 屋外美術館（北海道）
	2 芸術美術にザワザワザワッ！（P. 11）	写真	LOST #16 札幌市円山動物園（北海道）
	・ 日本文化との出会い（P. 31）	解説	鯉文花器 北海道立近代美術館蔵 エミール・ガレ
	3 暮らしに息づくパブリックアート（P. 52）	写真	テトラマウンド モエレ沼公園（北海道）イサム・ノグチ
	暮らしに息づくパブリックアート（P. 53）	写真	手 旭川市（北海道）木内禮智
	2 あなたのイメージを探そう（P. 20）	解説	風 安田侃（北海道）
	・ 自分を表現する色（P. 39）	写真	アットゥウシ アイヌ民族文化財団蔵（北海道）
	3 魅力を伝えるパッケージ（P. 40）	解説	ショートケーキ缶 橋本学（北海道）
	日本の世界文化遺産（P. 57）	一覧	北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道）
	受け継ぐ伝統と文化（P. 58）	写真	二風谷イタ（北海道）
	世界の工芸品と色彩（P. 59）	解説	札幌の景観色カラーチャート（北海道）
	世界の工芸品と色彩（P. 59）	写真	ライラック（札幌市のシンボルの木）
	世界の工芸品と色彩（P. 59）	写真	芸術の森（札幌芸術の森美術館）

令和7年度から使用する 中学校用、中等教育学校(前期課程)用教科用図書 調査研究報告書(答申)「技術・家庭小委員会」

調査研究の経過及び内容等

1 調査研究の経過及び内容

- (1) 第1回(審議) 5月22日(水) 18:30~19:15
 - ・調査研究項目の設定について
 - ・調査研究の流れ、日程、役割分担
- (2) 第2回(調査研究会議) 5月30日(木) 17:45~20:00
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (3) 第3回(調査研究会議) 6月6日(木) 17:45~20:00
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (4) 第4回(調査研究会議) 6月13日(木) 17:45~20:00
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (5) 第5回(調査研究会議) 6月20日(木) 17:45~20:00
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (6) 第6回(調査研究会議) 6月27日(木) 17:45~20:00
 - ・採択参考資料を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、各教科書の特徴点についての調査研究
- (7) 第7回(調査研究及び審議) 7月2日(火) 17:45~20:00
 - ・市民意見、学校意見を基礎資料とした、各教科書の特徴点についての調査研究
 - ・札幌市として設定する調査研究項目に基づく、答申案の審議、決定

2 調査研究対象の教科用図書

「技術・家庭(技術分野)」

東書(2)

「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」

教図(6)

「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」

「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造するスキルアシスト」

開隆堂(9)

「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」

「技術・家庭(家庭分野)」

東書(2)

「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」

教図(6)

「新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」

開隆堂(9)

「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」

札幌市として設定する調査研究項目

教科	技術・家庭	種目	技術分野
----	-------	----	------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	自ら生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具現化し、実践を評価・改善するなどの学習活動を通して、主体的に課題を解決する力を育むことが可能な内容となっているか。
2	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「札幌らしい特色ある学校教育【環境】」を位置付けている。	(1) 技術と環境との関わりについての取扱い	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術が生活や環境に及ぼす影響について理解し、安心、安全で豊かな生活の実現や環境保全と利便性が両立した持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫して創造しようとする実践的な態度を養うことが可能な内容となっているか。
3	教育DX推進に向けた教育環境の整備 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「ICTを活用した教育の推進」を位置付けている。	(1) 情報の技術に関する取扱い	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングや、計測したデータを活用して制御するプログラミング、さらに情報モラル等の学習活動を通して、情報活用能力を育むことが可能な内容となっているか。
共通項目			
教科別項目			

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	自ら生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具現化し、実践を評価・改善するなどの学習活動を通して、主体的に課題を解決する力を育むことが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	・ガイダンスでは、技術における問題解決（見方・考え方）が漫画でわかりやすく解説されているとともに、「技術のめがね」や「最適化の窓」というページにて、様々な視点を発見、整理する学習活動を通して、技術に関わる問題を自ら見いだすことが可能な構成となっている。 ・各編2章（4編3章含む）の「問題解決例」では、「生活をよりよくするものづくり」など、自分なりに課題設定できるよう工夫されているとともに、問題の発見や課題の設定例についても豊富に掲載されており、主体的に課題を解決することが可能な内容となっている。 ・各編3章（4編のみ4章）に「未来の Technology これからの〇〇の技術について考えよう」というワークシートが掲載されており、各編で学習した内容を生かして、これからの技術の活用について主体的に課題を解決しようとする態度を養うことが可能な内容となっている。 ・「統合的な問題解決」では、3年間で学んだ1～4編の技術を複数組み合わせさせた問題解決例が2つ掲載され、具体的なイメージをもって自ら課題を設定できるように工夫されており、主体的に課題を発見・解決する力を育むことが可能な内容となっている。		
教 図	・ガイダンスでは、技術の問題解決を自分の考え（中学生の立場）だけでなく、つくる人、使う人などの様々な立場で考える必要があると自転車を例に解説されており、技術に関わる問題について考えることが可能な内容となっている。 ・各編第2章（D編3章含む）の「プチ問題解決にチャレンジ！」では、製作などの主な手順を理解することができると題材例が掲載されており、基礎的な知識・技能の習得とともに、身近な問題を解決する流れについて理解することが可能な内容となっている。 ・各編第2章（D編3章含む）の「題材例」では、完成（収穫）までの作業工程が詳しく示されており、作業内容を確認しながら各自で作業を進めることが可能な内容となっている。 ・E編の「夢をかなえる技術」では、3年間で学んだA～D編の内容を組み合わせた技術で問題解決を行っている最新の事例が掲載されている。		
開隆堂	・ガイダンスでは、身近な製品（ボールペン、はさみ）の特徴を読み取る学習活動から、製品の「願いや要求（Wants、環境、安全、経済）」と「科学の考え方」に気付き、最適化された技術のしくみを考えることが可能な内容となっている。 ・各編2章の「実習例」では、「問題の発見と課題の設定」から「評価・改善」までの流れと例が全ての実習例で示されており、問題解決の見通しをもって主体的に課題を解決することが可能な内容となっている。 ・各編2章の「問題解決のふり返しシート」では、記入例を参考にしながら、自分を取り組んだ問題解決について「問題の発見、課題の設定、構想と設計（計画）、評価・改善」の4つのプロセスで振り返り返る流れとなっており、実践を評価・改善することが可能な内容となっている。 ・「技術分野の出口」では、3年間で学んだA～Dの内容を振り返り、社会で使われている技術が複数組み合わせられていることに気付くとともに、3つの統合実習例を参考にした学習活動を通して、主体的に課題を発見・解決する力を育むことが可能な構成となっている。		

調査研究項目 No.2	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1) 技術と環境との関わりについての取扱い
調査研究の具体的内容	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術が生活や環境に及ぼす影響について理解し、安心、安全で豊かな生活の実現や環境保全と利便性が両立した持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫して創造しようとする実践的な態度を養うことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 東 書	・環境に関する内容に「環境マーク」が12か所表示されており、環境への配慮と学習内容とのつながりを意識しながら学習を進めることが可能な内容となっている。 ・各編末の「すごいぞ！技術」では、SDGsの実現に向けた技術者（技術の匠）などが掲載されており、持続可能な社会の構築に向けた理解を深めることが可能な内容となっている。
教 図	・環境に関する内容に「環境マーク」が6か所表示されており、環境と関連付けながら学習を進めることが可能となっている。 ・各編2章末及び3章（D編のみ3章末及び4章）の「技ビト」や「スゴ技」では、SDGsの実現に向けた技術の例が掲載されている。
開隆堂	・環境に関する内容に「環境マーク」が24か所表示されており、環境や資源・エネルギーへの配慮と学習内容とのつながりを意識しながら学習を進めることが可能な内容となっている。 ・各編1章末の「〇〇に技術とSDGsとの関連について考えよう。」及び、2章の「問題解決の評価・改善」では、SDGsと関連させながら、既存の製品や技術を調べる学習活動と製作品等振り返る学習活動を通して、持続可能な社会の構築に向けた実践的な態度を養うことが可能な構成となっている。

調査研究項目 No.3	教育DX推進に向けた教育環境の整備	具体項目	(1)情報の技術に関する取扱い
調査研究の具体的内容	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングや、計測したデータを活用して制御するプログラミング、さらに情報モラル等の学習活動を通して、情報活用能力を育むことが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	・ 4編1章の「6情報モラル」では、情報検索などの仕組みを知り、情報の技術に関するプラス面（便利な点）とマイナス面（注意すべき点）について評価する学習活動を通して、情報社会において適正に活動するための基となる考え方や態度を養うことが可能な構成となっている。 ・ 4編1章-6の「知的財産の保護」及び、「知的財産の活用と創造」では、知的財産権の主な種類やクリエイティブコモンズ（著作物の利用条件）のマークが掲載されている。 ・ 4編2章の双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる「問題解決例」では、制作方法だけでなく動作確認やデバッグ（バグを修正する作業）についても掲載されており、図や写真などで情報処理の流れを動作ごとに見通しをもって学習することが可能な内容となっている。 ・ プログラミングについては、ブロック型言語を使用した例示が多く掲載されており、小学校との接続を意識した学習が可能な内容となっている。		
教 図	・ D編1章-5の「情報モラルと情報の扱いかた」及び、「知的財産や個人を守る権利や法律」では、問題となる具体的な事例を参考にしながら、相手の人権や知的財産権を尊重した責任ある行動について考えることが可能な内容となっている。 ・ D編2章-1の「双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう」では、ショッピングサイトでの情報の送信・受信の流れが図示されており、情報処理の流れを動作ごとに理解することが可能な内容となっている。 ・ プログラミングについては、ブロック型言語を使用した例示とテキスト型言語を使用した例示を併記するなど、小学校だけではなく、高等学校への接続も意識した学習が可能な内容となっている。		
開隆堂	・ D編1章-3の「2情報モラル」では、SNSを利用する際（情報発信）の注意点について話し合う学習活動を通して、個人情報の保護、人権・プライバシーの保護、肖像権の保護など、情報社会において適正に活動するための基となる考え方や態度を養うことが可能な内容となっている。 ・ D編1章-3の「3知的財産の保護と活用」では、知的財産の保護と著作権の保護の立場から適切な利用を検討する学習活動を通して、知的財産を保護する必要性などについて理解を深め、著作物などの望ましい利用に関わる考え方を育むことが可能な構成となっている。 ・ D編2章-1の双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決の「実習例」では、問題解決の流れとともに多様なプログラムやアクティビティ図の例が豊富に掲載されており、参考にしながら自分なりの課題を設定し、問題解決することが可能な内容となっている。 ・ プログラミングについては、ブロック型言語を使用した例示が多く掲載されており、小学校との接続を意識した学習が可能な内容となっている。		

札幌市として設定する調査研究項目

教科	技術・家庭	種目	家庭分野
----	-------	----	------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考えて実践したことを見直し、改善する学習活動を通して、達成感や実践する喜びを味わい、学んだことなどの学習や日常生活に生かそうとする意欲を高めることが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」を位置付けている。	(1) 家庭や地域社会との協力・協働に関する取扱い	家族や地域の人々とよりよく関わる力を育成するために、家庭や地域社会について理解を深め、幅広い世代の地域の人々と協力・協働しようとする態度を養うことが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「『ふるさと札幌』を心にもつ学び」を位置付けている。	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い	生活文化を継承・創造する大切さに気付くために、衣食住などの家庭生活とふるさと札幌の特色を関連させながら、考えを深めることが可能な内容となっているか。
教科別項目			
共通項目			

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	日常生活の中から問題を見出し、様々な解決方法を考えて実践したことを見直し、改善する学習活動を通して、達成感や実践する喜びを味わい、学んだことを次の学習や日常生活に生かそうとする意欲を高めることが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	・家庭分野における課題探究的な学習の流れを、見開きで分かりやすく説明している。また、ガイダンスの「自分の生活チェック」では、グラフを使って、自分の生活を振り返り「できる・できない」ことを確認できるなど、日常生活の中の問題を明確にすることが可能な構成となっている。 ・各編の初めに、日常生活を振り返り、「知りたいこと、できるようになりたいこと」について記入できる欄が設けられており、その後設定されている学習課題との関連を意識できるよう工夫されている。 ・各内容において、「目標」「学習課題」「生活に生かそう」「まとめよう」の学習のプロセスが設定されているため、見直しをもって学習を進めることが可能な構成となっている。 ・「家庭分野の学習を終えて」や「学んだことを社会に生かす」では、家庭分野の学習とこれからの生活や社会とのつながりを実感し、学んだことを日常生活に生かしやすい構成となっている。		
教 図	・「教科書の使い方」のページと「自分の課題をもって学習に取り組もう」のページを活用することにより、課題探究的な学習の進め方を把握することが可能な内容となっている。 ・教科書の初めに「口絵」が掲載されており、ガイダンスの内容とリンクさせることで、興味・関心を広げることが可能な内容となっている。 ・各編では、「見つめる」「見つめてみよう（自分ごととして捉える）」「学ぶ（芽生えた気付きや疑問を解説）」「振り返る（知識・技能の定着）」の4つのステップで構成されており、見直しをもって学習を進めることが可能な構成となっている。 ・「〇〇してみよう」や掲載されている写真、資料は、自ら課題を解決しようとする意欲を高めることが可能な内容となっている。		
開隆堂	・各内容が「生活の具体的な場面から考える導入」→「客観的な記述から学ぶ基礎・基本」→「生活の中から考える課題」→「学習の振り返り」のサイクルで授業が展開できることから、生活を自分ごととして捉え、課題解決を進めることができる構成となっている。 ・ガイダンスや各内容の冒頭にある「自分の興味・関心を大切に」では、子ども一人一人の興味・関心が引き出され、よりよい生活やよりよい自分を目指すという未来志向な考え方で主体的に学習を進めることが可能な内容となっている。また、自分の経験を振り返ることから始まる内容となっており、日常生活と結び付けられることから、自分ごとの課題を設定することが可能な構成となっている。 ・各内容には、「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」や「教科書をガイドするマーク」が掲載されているため、自ら設定した課題に対して、多様な視点から主体的に課題解決に向かうことができるような内容となっている。 ・各内容の「学習のまとめ」では、「やってみよう、もっと知りたい、深く考えてみたい」ことを問いかける内容になっており、後の「生活の課題と実践」につなげることで、子どもの学びを日常生活に生かそうとする意欲を一層高めることが可能な構成となっている。		

調査研究項目 No. 2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 家庭や地域社会との協力・協働に関する取扱い
調査研究の具体的内容	家族や地域の人々とよりよく関わる力を育成するために、家庭や地域社会について理解を深め、幅広い世代の地域の人々と協力・協働しようとする態度を養うことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行 東 書	・1編では、イラストや写真が豊富に掲載されており、家族や地域の人など、自分が多くの人に支えられていることに気づき、それらの人々と関わりをもつて生活することの大切さが実感できるように工夫されている。 ・「やってみよう」「考えてみよう」においては、ロールプレイングを充実させ、立場を変えてよりよい関わりを考えることが可能な内容となっている。 ・家庭や地域の人と支え合う活動の例や生活の課題と実践例、さらには、災害への対策のページ等が多く掲載されており、主体的に地域のために何ができるか見通しをもつことが可能な内容となっている。
教 図	・中学生が地域行事に参加する活動例が豊富に提示されていることで、主体的に家庭や地域社会と関わることの大切さを実感できる内容となっている。 ・家族とのコミュニケーション、地域の人々や高齢者との関わり、幼児とのふれ合いなどが掲載されており、家族や地域の人々との具体的なコミュニケーションの方法を学ぶことができる内容となっている。 ・生活の課題と実践においては、事例が家族や地域社会に関連する内容となっており、特に評価、改善のプロセスでは、家族や地域の人々の声が掲載されており、「協力・協働」について考えながら実践することが可能な内容となっている。
開隆堂	・多様な家族や暮らし方について、写真やイラスト、絵本等の参考資料で詳細に提示されており、家族や地域の人々とよりよく関わる方法についての理解を深めることが可能な内容となっている。 ・中学生が地域と関わる例がイラストや写真によって豊富に掲載されており、幅広い世代の人々と協力・協働することがイメージしやすい内容となっている。 ・ジェンダー、ウェルビーイング、ヤングケアラー、障がい者、LGBTQについて掲載されており、多様な他者についての理解を深めることが可能な内容となっているとともに、子どもの相談窓口、家族関係を支えるNPO、札幌市でのヤングケアラーのサポート体制等、家族や地域社会の一員として、地域社会とのつながりから支援を受ける方法を知ることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根差した教育活動の推進	具体項目	(1) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容	生活文化を継承・創造する大切さに気付くために、衣食住などの家庭生活とふるさと札幌の特色を関連させながら、考えを深めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
東 書	・ 1 編の「生活文化の継承・創造」の見方・考え方についての説明を、各編の内容と関連付けることにより、自分の生活を見つめたり工夫したりすることが可能な構成となっている。 ・ 各編の地域の食材（利尻昆布）、郷土料理（石狩鍋）、染色（アットゥシ）、北海道の住まいの例、札幌市子育て支援総合センターなど北海道や札幌に関する内容が掲載されているため、衣食住などの家庭生活と地域の特色を関連付けて学習を進めることが可能な内容となっている。 ・ 各編の編末には「持続可能な社会の構築に向けた章」が設定されており、持続可能な生活の構築について考え、実践しようとするのが可能な構成となっている。また、巻末資料には、SDGs の視点から、これからの学習や実践を深められるように、「家庭分野と SDGs」が掲載されている。 ・ B 編 3 章では、地域の食文化の学習において、北海道や札幌と関連した食材や料理の例として掲載されている野菜、米（ななつぼし）、肉類、魚介類（さけ、さんま、いか、石狩鍋、三平汁）を活用し、地域の食材について調べる学習活動を進めることで、理解を深めることが可能な内容となっている。 ・ 和食（ユネスコ無形文化遺産）についての説明が詳細なため、食文化の継承の大切さに気付くことが可能な内容となっている。 ・ 6 章の日本各地の住まいの例を活用しながら他の地域と比較し、北海道の住まいの特徴を確認することで、考えを深めることが可能な内容となっている。
教 図	
開隆堂	・ B 編の食生活の地域の食文化に関する学習においては、札幌黄や一尾の鮭から作られる郷土料理（氷頭なます、めふん、石狩鍋、三平汁、はらこ飯）など北海道や札幌と関連した内容が掲載されており、受け継がれてきた地域の食文化についての特色を考え深めることが可能な内容となっている。 ・ B 編の住生活の学習においては、気候風土に合わせた住まいの例と特徴や、環境や地形に応じた緊急避難場所、自然を生かした住まい方に関する内容が掲載されており、札幌の気候や自然環境と関連付けて考えを深めることが可能な内容となっている。 ・ 各編（各内容）の最後の「持続可能な〇〇生活」では、SDGs の 17 の目標のうち関係が深い項目を挙げられており、それまでの学習との関連性を考え、自分の取組について振り返り、主体的に考えを深めることが可能な構成となっている。

技術・家庭 (技術分野)

技術・家庭（技術分野）の目標について
【教科の目標】 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [技術分野の目標] 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

○ 標準授業時数

第1学年－70単位時間 第2学年－70単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

観 点 ／ 番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	2・東書	第1・2・3学年 技術分野	技術・002-72	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
取 扱 内 容 〔 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等 〕、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術でできることについて話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、生活や社会の中で使われている情報の技術を見付け、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「技術分野の学習を始めよう」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使 用 上 の 配 慮 等	○ 問題の発見や課題設定のイメージをもたせるための3コマ漫画を示したり、技術の見方・考え方に気付かせるための「技術のめがね」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
そ の 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点 ／ 番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	6・教図	第1・2・3学年 技術分野	技術・006-73 技術・006-74	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身の回りで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り方についてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、見付けることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使 用 上 の 配 慮 等	○ 問題解決の流れを学ぶための4コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「振り返る」の3つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
そ の 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		9・開隆堂	第1・2・3学年 技術分野	技術・009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたことを情報交換することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。			
		○ 内容の構成・排列については、「技術の学習を始める前に」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 問題解決の流れのイメージをもたせるための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 3

＜技術・家庭（技術分野）の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <p>① 各内容（「A材料と加工の技術」「B生物育成の技術」「Cエネルギー変換の技術」「D情報の技術」）ごとのページ数及び総ページ数</p> <p>② 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数</p> <p>③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数</p> |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|--|
| <p>① 学習指導要領に示されている技術分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。</p> <p>② 実習・実験などの実験的・体験的な学習に当たっては、安全に十分留意することが求められていることから、安全と衛生への配慮について把握する必要があるため。</p> <p>③ 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。</p> |
|--|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	東書	教図	開隆堂	
①	各内容（「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」）ごとのページ数及び総ページ数	「A 材料と加工の技術」	ページ数	62	68	80	
			全体に占める割合	21%	22%	25%	
		「B 生物育成の技術」	ページ数	48	53	52	
			全体に占める割合	16%	17%	17%	
		「C エネルギー変換の技術」	ページ数	62	65	54	
			全体に占める割合	21%	21%	17%	
		「D 情報の技術」	ページ数	68	84	74	
			全体に占める割合	23%	28%	24%	
		その他（※1）	ページ数	58	34	54	
			全体に占める割合	19%	11%	17%	
		総ページ数			298	304 (※2)	314
		前回の総ページ数			306	344	302
		増減			-3%	-12%	4%
② 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数				20	51	25	
③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数				7	10	13	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※ 1) 「その他」については、統合的な問題について扱うページを含む。

(※ 2) 教図の総ページ数については、別冊「スキルアシスト」を含む。

様式 5

様式 4 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数」の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	B 動物を育てる技術（P99）	文字	省力化のための自動化の技術（北海道八雲町）
	解決策の構想 育成計画（P110）	地図	寒冷地・中間地・暖地の分布図
	C 電気を供給する仕組み（P145）	地図	日本の電源の周波数分布
	新幹線の技術（P155）	写真	北海道・東北新幹線E5系はやぶさ
	編末資料（P197）	写真	世界のエネルギーの問題の解決 （北海道十勝地方）
		文字	世界のエネルギーの問題の解決 技術の匠 （北海道）
	D これからの情報の技術（P260）	地図	自然災害の被害に備える情報の技術
教 図	B 身近な問題を解決してみよう（P93）	写真	地域の伝統野菜（札幌大球キャベツ）
	社会の発展と生物育成の技術（P108）	文字	寒さに強いイネをつくる（北海道）
	C 1章で学んだことをまとめよう （P135）	地図	電気を安定供給する工夫（北海道）
	D 題材例2：私の町の天気予報（P216）	文字	クライアントのプログラム（札幌）
	3章で学んだことをまとめよう （P241）	画像	「しきさい」の観測データ（北海道周辺の海域）
	他 将来のあなたへ 先輩からのメッセージ（P251）	文字	立命館慶祥高校
	巻 末	文字	札幌市青少年科学館
		文字	札幌市豊平川さけ科学館
		文字	旭川市科学館サイパル
		文字	市立函館博物館
開 隆 堂	A 材料と加工の技術（P27）	写真	白鳥大橋（北海道室蘭市）
	B 資料：栽培ごよみ（P132）	文字	栽培ごよみ（ミニトマト）主産地：北海道
	資料：栽培ごよみ（P133）	文字	栽培ごよみ（ラディッシュ）主産地：北海道
		文字	栽培ごよみ（ダイコン）主産地：北海道
		文字	栽培ごよみ（イネ）主産地：北海道
	資料：栽培ごよみ（P134）	文字	栽培ごよみ（トウモロコシ）主産地：北海道
		文字	栽培ごよみ（エダマメ）主産地：北海道
		文字	栽培ごよみ（マリーゴールド）主産地：北海道
	資料：栽培ごよみ（P135）	文字	栽培ごよみ（ナタネ）主産地：北海道
	実習例1：ミニトマトの栽培（P136）	文字	ミニトマトの基本情報 主産地：北海道
	実習例3：ラディッシュの容器栽培 （P140）	文字	ラディッシュの基本情報 主産地：北海道
	実習例6：イネの容器栽培（P146）	文字	イネの基本情報 主産地：北海道
	C 電気の供給のしくみ（P166）	地図	電気の周波数と融通（北海道地方）

技術・家庭 (家庭分野)

技術・家庭（家庭分野）の目標について
【教科の目標】 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 [家庭分野の目標] 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

○ 標準授業時数

第1学年－70単位時間 第2学年－70単位時間 第3学年－35単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・002-72	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理を行ったり、住まいの中の危険について考えたりする活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために持続可能な衣生活を取り上げ、衣服をリフォームしたり、リメイクしたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域の人と炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く!」「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 学習のまとめごとに、生徒が自分の課題に気づくために生徒キャラクターによる課題につながるヒントを示したり、学習したことを自分自身の生活に生かすために「生活に生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の検閲を受けたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		6・教図	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・006-72	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、高齢者とのかわりについて理解したり、住んでいる地域のよいところを振り返ったりする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「A家族・家庭生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために高齢者の一般的な特徴を取り上げ、ゴーグルなどを身に付けた疑似体験をするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう!」「メッセージ」などのコラムを掲載したり、幼児の表情がわかる写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 学習のまとまりごとに、学習前と学習後の自分の状況を比較し学習効果を実感するために「自立度チェック」を設けたり、生活の中の課題を、ステップに沿って解決するために「学びを生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、図やグラフの色遣いで、色による区別がなく、色の境界が識別できるように配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や計算ソフトを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、幼児にとっての遊びの意義について理解したり、自分の成長を振り返ったりする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために郷土料理や行事食を取り上げ、地域の雑煮を調べて調理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当をつくる実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるように工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 「消費・環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などのコラムを掲載したり、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 学習のまとめりごとに、自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもつために「生活の具体的な場面の例」を示したり、生活の中から考え、実践するために「やってみよう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、デザイン、配色について色彩の専門家による検証を行ったりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や学習カードを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 3

＜技術・家庭（家庭分野）の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 各内容（「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」）のページ数及び総ページ数② 実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数 |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 学習指導要領に示されている家庭分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。② 実習・実験などの実験的・体験的な学習に当たっては、安全に十分留意することが求められていることから、安全と衛生への配慮について把握する必要があるため。③ 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。 |
|---|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	東書	教図	開隆堂
①	3つの内容「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」のページ数及び総ページ数	「A 家族・家庭生活」	ページ数	24	60	62	
			全体に占める割合	8%	20%	20%	
		「B 衣食住の生活」	ページ数	102	150	146	
			全体に占める割合	34%	51%	46%	
		「C 消費生活・環境」	ページ数	22	42	20	
			全体に占める割合	7%	14%	6%	
		「A 家族・家庭生活」 「B 衣食住の生活」 「C 消費生活・環境」 (※ 1)	ページ数	11	10	34	
			全体に占める割合	4%	3%	11%	
		「B 衣食住の生活」 「C 消費生活・環境」 (※ 1)	ページ数	44	0	12	
			全体に占める割合	15%	0%	4%	
		「A 家族・家庭生活」 「C 消費生活・環境」 (※ 1)	ページ数	36	0	4	
			全体に占める割合	12%	0%	1%	
		その他 (※ 2)	ページ数	59	34	36	
			全体に占める割合	20%	11%	12%	
		総ページ数			298	296	314
		前回の総ページ数			306	308	302
		増減			-3%	-4%	4%
②	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数 (※ 3)			41	51	35	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			7	6	5	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※ 1) 調査項目「A B C」「B C」「A C」については、編集趣意書に基づくものとする。

(※ 2) 「その他」は、巻末資料等とする。

(※ 3) 調査項目②の「実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数」については、「安全」マーク及び「衛生」マークを対象とする。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	BC 生鮮食品の特徴（P55）	写真	牛肉の表示例（北海道産）
	B 日本の食文化と和食の調理（P99）	写真	地域の食材（利尻昆布）
	B 日本の食文化と和食の調理（P103）	写真	日本各地の郷土料理（石狩鍋）
	BC 日本の衣服の文化（P123）	写真	地域に伝わる染色の例（アットゥシ）
	B 住まいと気候風土の関わり（P174）	写真	日本各地の住まいの例（風除室・二重窓）
	B 住まいと気候風土の関わり（P175）	写真	日本各地の住まいの例（無落雪屋根）
	AC 子どもにとっての家族（P256）	写真	乳幼児のための社会施設の例 （札幌市子育て支援総合センター）
教 図	B 食事の役割を考えよう（P73）	写真	「こども食堂」でつながろう （札幌市こども食堂）
	B 地域の食文化を知ろう（P140）	資料	地域の食材の例（ななつぼし）
	B 地域の食文化を知ろう（P141）	資料	地域の食材の例（さけ・さんま・いか・かに）
	B 地域の食文化を知ろう（P143）	写真	全国各地のおもな郷土料理（石狩なべ）
	B 和食の調理をしてみよう（P146）	写真	地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう （三平汁）
	B 私たちの住生活（P199）	写真	日本各地の住まいの例（三角屋根）
開 隆 堂	A 多様な家族関係（P33）	写真	地域の取組（札幌市ヤングケアラー交流サロン）
	B 受け継がれてきた食文化（P158）	写真	伝統野菜の例（札幌黄）
	B 受け継がれてきた食文化（P161）	写真	日本各地の郷土料理（ちゃんちゃん焼き）
	BC 持続可能な食生活を目指して（P173）	写真	フードバンク（札幌市）
	B 日本の気候風土と住まい（P240）	写真	気候風土に合わせた住まいの特徴 （融雪装置や二重玄関）

令和7年度から使用する 中学校用、中等教育学校（前期課程）用教科用図書 調査研究報告書（答申）「社会小委員会」

調査研究の経過及び内容等

1 調査研究の経過及び内容

- (1) 第1回（審議） 5月22日（水）18:30～19:15
- ・委員長及び分野別代表者の選出、調査研究項目の設定、役割分担等について
 - ・役割分担
- (2) 第2回（調査研究会議） 5月29日（水）17:30～20:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目における、各教科書の特徴点についての調査研究
- (3) 第3回（調査研究会議） 6月 5日（水）17:30～20:30
- ・札幌市として設定する調査研究項目における、各教科書の特徴点についての調査研究
- (4) 第4回（調査研究会議） 6月12日（水）17:30～20:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目における、各教科書の特徴点についての調査研究
- (5) 第5回（調査研究会議） 6月19日（水）17:30～20:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目における、各教科書の特徴点についての調査研究
- (6) 第6回（審議） 6月26日（水）17:30～21:30
- ・札幌市として設定する調査研究項目における、調査研究報告書（答申）案についての審議
 - ・採択参考資料を基礎資料とした調査研究
- (7) 第7回（審議） 7月 1日（月）17:30～20:00
- ・札幌市として設定する調査研究項目における、調査研究報告書（答申）案についての審議
 - ・採択参考資料を基礎資料とした調査研究
 - ・学校意見、市民意見を参考とした調査研究

2 調査研究対象の教科用図書

「地理的分野」

- ・東書（2） 「新編 新しい社会 地理」
- ・教出（17） 「中学社会 地理 地域にまなぶ」
- ・帝国（46） 「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」
- ・日文（116） 「中学社会 地理的分野」

「歴史的分野」

- ・東書（2） 「新編 新しい社会 歴史」
- ・教出（17） 「中学社会 歴史 未来をひらく」
- ・帝国（46） 「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」
- ・山川（81） 「中学歴史 日本と世界 改訂版」
- ・日文（116） 「中学社会 歴史的分野」
- ・自由社（225） 「新しい歴史教科書」
- ・育鵬社（227） 「新しい日本の歴史」
- ・学び舎（229） 「ともに学ぶ人間の歴史」
- ・令書（236） 「国史教科書 第7版」

「公民的分野」

- ・東書（2） 「新編 新しい社会 公民」
- ・教出（17） 「中学社会 公民 とともに生きる」
- ・帝国（46） 「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」
- ・日文（116） 「中学社会 公民的分野」
- ・自由社（225） 「新しい公民教科書」
- ・育鵬社（227） 「新しいみんなの公民」

「地図」

- ・東書（2） 「新編 新しい社会 地図」
- ・帝国（46） 「中学校社会科地図」